オペレーター ガイド

日本語

Trendsetter ContinuousLoad

TSM バージョン

653-00629A-JA-A
内部 731-00090A-JA-A

www.creo.com

Trendsetter ContinuousLoad

オペレーター ガイド

creo™

著作権

Copyright © 2003 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本マニュアルは、Adobe Systems Incorporated の PDF (Portable Document Format) 形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本マニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、および Acrobat ロゴは Adobe Systems, Inc. の登録商標で、米国特許商標局で登録されており、他の法域で登録されている場合もあります。

Polaroid は Polaroid Corporation の登録商標です。

Kimwipes は Kimberly-Clark Corporation の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害 (損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません)、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害 (本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません) についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,325,217	5,532,728	5,742,743	5,996,499	6,158,345	6,353,216
4,558,302	5,339,176	5,561,691	5,764,374	5,998,067	6,159,659	6,366,339
4,743,091	5,343,059	5,568,595	5,764,381	6,003,442	6,164,637	6,371,026
4,992,864	5,355,446	5,576,754	5,771,794	6,014,471	6,180,325	6,377,739
5,049,901	5,359,451	5,579,115	5,785,309	6,016,752	6,181,362	6,387,597
5,079,721	5,359,458	5,592,309	5,813,346	6,031,932	6,181,439	6,396,422
5,103,407	5,367,360	5,594,556	5,818,498	6,043,865	6,186,068	6,396,618
5,111,308	5,384,648	5,600,448	5,854,883	6,060,208	6,189,452	6,407,849
5,113,249	5,384,899	5,608,822	5,861,904	6,063,528	6,191,882	6,414,755
5,122,871	5,412,491	5,615,282	5,861,992	6,063,546	6,204,874	6,422,801
5,124,547	5,412,737	5,625,766	5,875,288	6,072,518	6,208,369	6,435,091
5,132,723	5,420,702	5,636,330	5,894,342	6,090,529	6,214,276	6,441,914
5,150,225	5,420,722	5,649,220	5,900,981	6,096,461	6,217,965	6,450,092
5,153,769	5,459,505	5,650,076	5,934,196	6,098,544	6,260,482	6,456,396
5,155,782	5,473,733	5,652,804	5,942,137	6,107,011	6,266,080	6,476,931
5,157,516	5,481,379	5,680,129	5,946,426	6,112,663	6,266,134	6,477,955
5,208,818	5,488,906	5,691,823	5,947,028	6,115,056	6,267,054	6,509,903
5,208,888	5,497,252	5,691,828	5,958,647	6,121,996	6,268,948	6,541,181
5,247,174	5,508,828	5,696,393	5,966,504	6,130,702	6,283,589	6,545,772
5,249,067	5,509,561	5,699,174	5,969,872	6,134,393	6,295,076	6,564,018
5,283,140	5,517,359	5,699,740	5,973,801	6,136,509	6,299,572	
5,291,273	5,519,852	5,708,736	5,986,819	6,137,580	6,318,266	
5,323,248	5,526,143	5,713,287	5,995,475	6,147,789	6,352,816	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話: 1-604-451-2700
Fax: 1-604-437-9891
http://www.creo.com

内部 731-00090A-JA-A
最終更新日: ２００３ １２

目次

1 安全性 1

このガイドの対象読者 2
危険、警告、および注意事項 2
安全な操作に関する重要な注意事項 3
安全に関する情報 3
インストール 5
メンテナンス 5
安全のための機能 6
インターロック システム 6
停止スイッチ 7

2 システムの概要 9

Trendsetter ContinuousLoad システム 10
システム コンポーネント 12
出力デバイス 13
Trendsetter ContinuousLoad を安全に使用する 14
Trendsetter ContinuousLoad コンポーネント 14
安全パネル 17
アンロード テーブル 17
環境に関する仕様 18
交換の必要な部品 18
サポートされているメディア 19
複数のメディア サイズ 19
サポートされているメディア サイズ 19
メディアの方向 20
メディアの寸法 21
メディアの処理 21

3 操作 23

Trendsetter の開始 24
Trendsetter のシャットダウン 25
メディアのロード 26
手動操作 30
メディアの見当 31
プレートの曲げとパンチング 31

4 メンテナンス 33

メンテナンス スケジュール 34
安全のために 36
外部面の清掃 37
清掃時の推奨事項 37
汚れの除去 38
ロード ランプの清掃 38
出力デバイスの内部へのアクセス 39
前面パネルの開閉 40
ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け 42
電源ボックス パネルの取り外しと取り付け 44
出力デバイスの内部の清掃 44
エッジ検出ストリップの清掃 45
プレート ローラーの清掃 46
エア サプライ フィルタの交換 47
圧縮エア サプライ フィルタ 48
吸気フィルタ 57
汎用塵除去キャビネット フィルタの交換 59
ロード ランプ上のサクション カップの交換 59

5 トラブルシューティング 61

オペレータが回復可能なエラー 62
警告メッセージ 62
エラー メッセージ 63
エラー メッセージと望ましい解決法 66
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット 88
出力デバイスのリセット 88
出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し 89
後続エッジ クランプの移動 92
イメージ品質上の問題 94
電源の障害 94
トリップされた回路ブレーカー 95
出力デバイスの空圧の損失 96

A 部品番号 97

部品リスト 98

B ラベル 99

概要 100
ID と認証ラベル 101
ID ラベル 102
クラス 1 レーザー製品ラベル 103
CDRH 認証ラベル 103
CE ラベル 104
CSA ラベル 104
FCC 認証ラベル 105
C-Tick ラベル 105
レーザーの安全性ラベル 106
露出ヘッド アパチュア ラベル 106
可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル 107
非インターロック式パネル危険ラベル 108
ドア インターロック危険ラベル 109
一般的な安全性ラベル 110
高圧漏れ電流ラベル 110
安全性インターロック オーバーライド ラベル 111
危険電圧ラベル 112
過熱表面注意ラベル 112
可動部品ラベルに注意してください 113
手を触れないでください警告ラベル 113
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル 114
ソレノイド ロック ラベル 114
ヒューズ交換ラベル 115

C 法律上の遵守事項 117

電気的および機械的な安全 118
遵守の EC 宣言 119
レーザーの安全性 120
EMI/EMC の遵守 120
ノイズの放出 121

用語集 123

索引 127

1

安全性

このガイドの対象読者.....2
安全な操作に関する重要な注意事項.....3
安全に関する情報.....3
安全のための機能.....6

このガイドの対象読者

このガイドは、Trendsetter® ContinuousLoad 出力デバイスを操作し、メンテナンスする人を対象にしています。

このガイドを使用するには次の知識が必要です。

- 製版工程に関する実用的な知識
- Windows® オペレーティング システムの使用に必要な知識

このガイドでは、以下の状況を想定しています。

- Creo システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールされ、構成されており、それらが正しく動作している。
- Creo システムに送信されたファイルには、見つからないフォントや PostScript® エラーなど、事前点検中に通常は解決されるエラーがない。

危険、警告、および注意事項

すべての危険、警告、および注意は、安全上の情報を提供するものです。危険、警告、および注意を無視すると、人体に怪我を負ったり、機器が損傷する恐れがあります。



危険：この記号は明らかに危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る状況を示します。この記号は人体への怪我の危険が関連していない限り、物的な損害を伴う事故については警告しません。



警告： この記号は潜在的に危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る可能性のある状況を示します。この記号は人体への怪我の危険が関連していない限り、物的な損害を伴う事故については警告しません。



注意： この記号は潜在的に危険で、回避しないと死または軽傷に至る可能性のある状況を示します。これは、安全でない行為や潜在的に財産物にのみ損害を及ぼす事故についても警告します。

安全な操作に関する重要な注意事項



警告: Trendsetter ContinuousLoad を使用する前に、このガイドを読み、理解する必要があります。

Trendsetter ContinuousLoad を使用する場合、すべての安全に関する注意と望ましい手順に従う必要があります。このガイドは、Trendsetter ContinuousLoad を操作する人が誰でも読めるようにしておくことが重要です。

このガイドの情報を読み、理解し、従わなかった場合は、怪我または身体障害が起こる可能性があります。

安全に関する情報

このガイド全体を通して、Trendsetter ContinuousLoad の安全な操作に関連する指示や警告が示されています。次の指示に厳密に従うことが、マシンの安全な操作の上で重要です。

1. アクセス パネル インターロック システムを妨げないでください (6 ページの「インターロック システム」を参照)。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。
2. 認定されたメディアのみを使用してください (19 ページの「サポートされているメディア」を参照)。未認定のメディアを使用すると、有毒な排出物にさらされる可能性があります。
3. 出力デバイスの動作中は可動部分から手や指を離してください (6 ページの「インターロック システム」を参照)。出力デバイスに関連した機械的な危険があり、人体への怪我や機器への損傷を与える可能性があります。
4. 出力デバイスがシャットダウンしているときにのみ、メンテナンスを実行してください (34 ページの「メンテナンス スケジュール」を参照)。

5. 必要なときにのみアクセス パネルを開いてください (6 ページの「インターロック システム」と 39 ページの「出力デバイスの内部へのアクセス」を参照)。出力デバイス アクセス パネルを開いたり、取り外したり、交換することに関して、このガイドの安全上の推奨事項と手順に従わなかった場合、人体に怪我を負ったり、機器が損傷する恐れがあります。アクセス パネルを開くことは避けられませんが、埃の蓄積を敏感なコンポーネントの中や周囲から減らすために、最小限にとどめてください。
6. エア サプライ フィルタの操作をするときにエア サプライをシャットオフしてください (48 ページの「圧縮エア サプライ フィルタ」を参照)。圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、人体に怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。
7. クランプ タブを正しく整列してください (92 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照)。ドラムにトレーリング エッジ クランプを配置したり、スライドさせるとき、常にクランプのスチール タブがドラムのスチール ストラップ上で中央揃えされていることを確認してください。クランプ タブは、タブが正しく整列されていない場合に、ドラムの表面を損傷させる場合があります。ドラムの後続エッジ クランプの間に指を挟まないようにしてください。
8. 許可されない修理を行ったり、変更を行わないでください (5 ページの「メンテナンス」を参照)。出力デバイスに許可のないパネルの取り外し、修理、または変更を行うと、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として死または深刻な怪我に至る可能性があります。
9. メディアと磁気クランプを取り扱うときは、保護グローブを着用してください (26 ページの「メディアのロード」を参照)。プレートのエッジは鋭いので、保護グローブを着用しないと怪我をする可能性があります。
10. 出力に水やそのたの液体が自由に入り込まないようにしてください (37 ページの「外部面の清掃」を参照)。水または液体が入り込むと、怪我をしたり、感電するばかりか、機器に損傷を与えることがあります。
11. 洗剤を定期的に使用しないでください (38 ページの「汚れの除去」を参照)。科学溶液または強い洗剤を使うと圧縮空気フィルタなどのプラスチック部分がひび割れる恐れがあります。

12. ペースメーカーを使用している場合は、磁気クランプの取り扱いに注意してください (89 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照)。ペースメーカーを着用しているオペレータは、磁気クランプをペースメーカーから 7 センチ (2.75 インチ) 以上離すようにしてください。他の心配事がある場合は、医者またはインプラントのメーカーに問い合わせてください。
13. Creo が認定した交換フィルタのみを使用してください (18 ページの「交換の必要な部品」を参照)。代替または未許可のフィルタを使用しようとした場合、出力デバイスが正しく動作しないことがあります。

火事の場合の対応

出力デバイスで出火した場合、デバイスの外側にある電源スイッチを **Off** の位置にしてください。25 ページの図 9 を参照してください。

インストール

出力デバイスの設置と初期稼動は、認定されたサービス代理店により実行されなければなりません。出力デバイスがインストールされ、それがオンになっているとき、操作環境と接続の要件が満たされていることを確認してください。

メンテナンス

メンテナンスを行う場合は、第 4 章「メンテナンス」に記載されたメンテナンス手順に必ず従ってください。ほかのメンテナンスやすべてのサービス作業は、認定されたサービス代理店のみが行うようにしてください。



危険: 出力デバイスに許可のないパネルの取り外し、修理、または変更を行うと、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として死または深刻な怪我に至る可能性があります。

安全のための機能

インターロック システム

出力デバイスにはインターロック システムが装備されています。これは、次のものによる怪我からユーザーを守ります。

- 可視および不可視の高電力レーザー放射線
- 可動機械部品

露出ヘッドからのレーザーの放出は裸眼では見えませんが、皮膚や目に接すると非常に危険です。出力デバイスの稼動中にアクセス パネルを開いたり、取り外す場合、インターロック システムは次のことを行います。

- すべての機械的な動作を中断する
- レーザーの電力をオフにする
- ステータス ライトを切断する

アクセス パネルを開いたり、取り外すときに機械的動作が停止しない場合、以下の操作を行ってください。

1. 電源スイッチを **Off** の位置にする。25 ページの図 9 を参照してください。
2. アクセス パネルを閉じるか、交換する。39 ページを参照してください。
3. できるだけ早く認定されたサービス代理店に連絡する。

出力デバイスの内部部品に触れたり、停止しようとしないでください。

注意： 出力デバイス アクセス パネルを開いたり、取り外したり、交換することに関しては、このガイドの安全上の推奨事項と手順に特別な注意を払ってください。注意を無視すると、人体に怪我を負ったり、機器が損傷する恐れがあります。

危険: アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

停止スイッチ

デバイスを停止するには 2 つの種類のスイッチがあります。Emergency Stop (緊急停止) スイッチはレーザー操作および機械的動作を静止しますが、電源はつながったままなので、デバイスのステータス情報にアクセスできます。Power (電源) スイッチはデバイスの電源を切断します。

[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ

緊急停止スイッチは、それを押すと、すべてのマシンの操作を中断する安全装置です。前面パネルの下の出力デバイスの内側にあります。

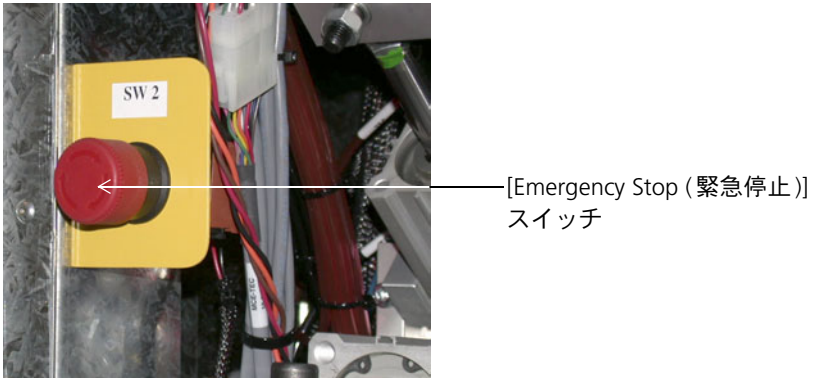


図 1: [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ

緊急停止スイッチは、認定されたサービス代理店のみが使用するために用意されています。このスイッチを押した場合、出力デバイスを通常の操作に戻す前にそれをリセットしてください。緊急停止スイッチをリセットする方法については、88 ページの「[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット」を参照してください。

緊急停止スイッチの使用法について質問がある場合は、出力デバイスのシリアル番号を書きとめ、認定されたサービス代理店に問い合わせてください。シリアル番号は ID ラベルに書かれています (このラベルはエア サプライ フィルタの隣の右下のバック パネルにあります)。このラベルの例については、102 ページの図 36 を参照してください。

電源スイッチ

電源スイッチはデバイスの外側にあります。メンテナンス処理のため出力デバイスをシャットダウンするように指示された場合、電源スイッチをオフにしてデバイスの電源を切ります。25 ページを参照してください。

2

システムの概要

Trendsetter ContinuousLoad システム.....10
システム コンポーネント.....12
出力デバイス.....13
Trendsetter ContinuousLoad を安全に使用する.....14
Trendsetter ContinuousLoad コンポーネント.....14
環境に関する仕様.....18
交換の必要な部品.....18
サポートされているメディア.....19

Trendsetter ContinuousLoad システム

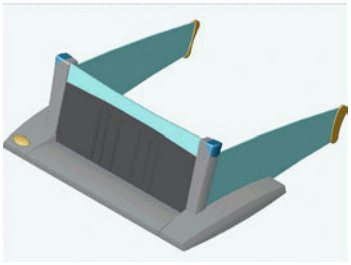
Trendsetter 出力デバイスは、コンピュータとプレート システムを接続する統合部です。4 ページまたは 8 ページの出力デバイスは、従来の印刷や水を使用しない印刷用のフィルムやプレートのいずれかを露出するための Creo サーマル イメージング技術を使用します。

Trendsetter ContinuousLoad デバイスは、Trendsetter 400 および Trendsetter 800 システムに高レベルのオートメーションを提供するためのオプションです。次の機能が装備されています。

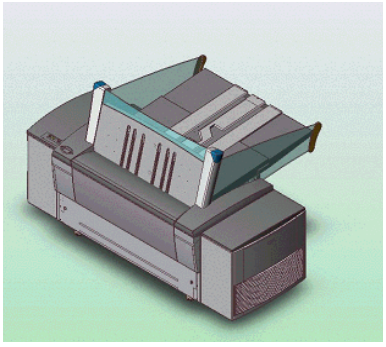
- プレートを連続してロードする — 最初のプレートをロードした後、オペレータは 2 番目のプレートの位置をあらかじめ設定できます。最初のプレートが返されると、Trendsetter ContinuousLoad デバイスによって 2 番目のプレートが自動的にロードされます。
- インライン プロセッサまたはプレート スタッカーへプレートを自動的に返す

  小さいメディアでは、オペレータはプレートの自動ロード機能を利用し、手動バイパス機能を使って手動でプレートを返すことができます。
- プレートを 90° 回転してプロセッサに最短エッジを示す

  この機能は Trendsetter ContinuousLoad 800 システムでは標準の機能、Trendsetter ContinuousLoad 400 システムではオプションの機能です。
- 状況を示すステータス ライト — たとえば、デバイスが特定の作業の待ち状態であることを示します。



ContinuousLoad デバイス



ContinuousLoad デバイスを装備した Trendsetter 400/800

図 2: ContinuousLoad デバイス

Trendsetter ContinuousLoad デバイスは Spectrum オプションと組み合わせて使用できます。

システム コンポーネント

Trendsetter ContinuousLoad システムは出力デバイス、ワークステーション、および Print Console ソフトウェアから構成されています。

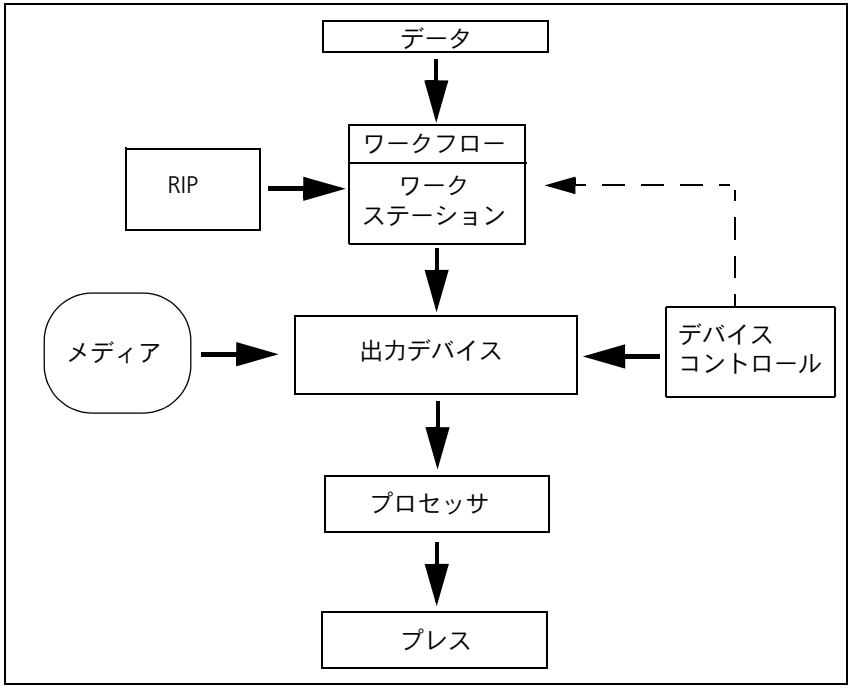


図 3: Trendsetter ContinuousLoad コンポーネント

このガイドには、出力デバイスに関する情報のみが含まれています。ソフトウェアのドキュメントについては、『Print Console クィック スタート ガイド』と Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

出力デバイス

このガイドは、出力デバイスを自分の前に置いて操作しながら読み進めてください。図 4 は、出力デバイスの主な部品を示します。



図 4: 出力デバイスの部品

Trendsetter ContinuousLoad を安全に使用する

安全のために、アンロード テーブルには安全パネルと可聴警告シグナルが装備されています。アンロード テーブルを水平の位置まで下げたとき、または立てるように持ち上げたとき、警告音が聞こえます (17 ページの図 6 を参照)。

注意 : 警告音が聞こえたら、アンロード テーブルから手や指を離してください。

追加の保護手段として、安全パネルはアンロード テーブルの左側と右側にあります。これらのポリカーボネイト パネルは、アンロード テーブルが上下に動いているときに、アンロード テーブルの内側の可動部品によって怪我をしないように保護するためのものです。

注意 : 安全パネルによって保護されている部分に手を入れないでください。アンロード テーブルに関連する機械的な危険があります。この注意に従わないと、人体に怪我を及ぼしたり、機器が損傷する恐れがあります。

Trendsetter ContinuousLoad コンポーネント

Trendsetter ContinuousLoad 出力デバイスには、以下のコンポーネントが含まれます。これらのコンポーネントの場所については、13 ページの図 4 を参照してください。

ロード ランプ

ロード ランプは、出力デバイスにイメージングするメディアの入口点です。事前ステージ部分に 1 つのメディアを手で置きます。センサーによってメディアの存在が検知され、出力デバイス内に自動的にロードされます。メディアのイメージングが完了した後、デバイスの後ろにあるアンロード テーブルにメディアが返されます。

最初のプレートがデバイスにロードされた後、すぐに、オペレータは 2 番目のプレートを事前ステージに置きます。2 番目のメディアも自動的に検知され、最初のメディアが返された後、デバイス内にロードされます。イメージングが完了するとアンロード テーブルにメディアが返されます。

ロード ランプには、交換が可能なサクション カップが付いています。

手動バイパス

手で取り出す必要のある小さいメディアは、取り出した後、デバイスの前にある事前ステージに置くことができます (デバイスの後ろにあるアンロード テーブルに置く必要はありません)。

Trendsetter ContinuousLoad 出力デバイス上のイメージ フィルムも、手動でバイパスする必要があります。

手動バイパスを行うとき、事前ステージ領域は空である必要があります (2 番目のメディアを事前ステージの上に置かないでください)。

オペレータ インターフェイス

オペレータが出力デバイスの傍に立っている場合は、オペレータ インターフェイス ライトでデバイスの状況をチェックできます。オペレータ インターフェイスのライトが点滅している場合、出力デバイスはタスクを実行中であるか、タスクの実行準備ができています。ライトが点灯したままの場合、インターフェイスは出力デバイスのステータスのみを伝達します。

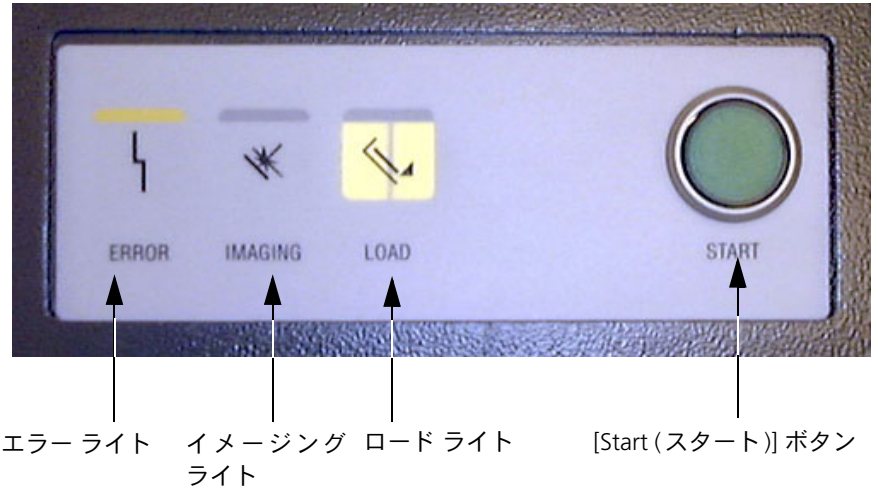


図 5: エラー、イメージング、ロード ライト

[Start (スタート)] ボタン

このボタンは、手動操作のときのみ使用します。手動でメディアをロードした後 (見当ピンにメディアをセットし、メディア ラベルにメディアを整列する)、[**Start (スタート)**] ボタンを押してイメージング プロセスを開始します。このボタンは、状況を示すために点灯または点滅しません。

ステータス ライト

オペレータが Trendsetter ContinuousLoad デバイスの傍に立っていない場合は、ロード ランプの上部にあるステータス ライトでデバイスの現在のステータスをチェックできます。

ステータス ライトの色は、オペレータによる操作が必要がどうかを示します。ライトの点灯または点滅は、どのタスクを処理中か、またはどのオペレータによる操作が必要かを示します。

表 1: ステータス ライト

ライトの色	状態	意味	必要なオペレータの操作
青	青のライトが点灯	オペレータの操作が必要です。	事前ステージ領域にプレートを置いてください。
	青のライトが点滅		手動バイパス ドア、またはアンロード テーブルからプレートを取り出してください。
緑	緑のライトが点灯	オペレータの操作は必要ありません。	なしデバイスでメディアのロードまたはイメージングが行われています。
	緑のライトが点滅		なしデバイスがメディアを返しています。
黄色	黄色のライトが点滅	ジョブが中断された警告です。	問題の原因を調査してください。エラーが解決すると、黄色いステータス ライトは消えます。
ライトが消えている	オフ	デバイスはアイドリング状態です。	なし

安全パネル

安全パネルは、アンロード テーブルの片側にあります。これらのポリカーボネイト パネルは、アンロードテーブルを下げたり、縦の位置に上げたときに怪我をしないように保護するためのものです。17 ページの図 6 を参照してください。

注意: 安全パネルにより保護されている領域に手を入れないでください。ロード テーブルに関連する機械的な危険があります。この注意に従わないと、人体に怪我を及ぼしたり、機器が損傷する恐れがあります。

アンロード テーブル

アンロード テーブルはメディアの出口点です。イメージングされたメディアはアンロード テーブルに排出されます。メディアが完全に出されると、アンロード テーブルは水平位置に下がります。

アンロード テーブルが上下に動くと、警告音が鳴ります。

注意: アンロード テーブルが水平位置に下がるときや垂直に上がるときに、アンロード テーブルに手や指を触れないように気をつけてください。アンロード テーブルに関連した機械的な危険があり、人体への怪我や機器への損傷を与える可能性があります。



図 6: アンロード テーブル

環境に関する仕様

Trendsetter ContinuousLoad は、クリーンなプリプレス領域にインストールしてください (『Trendsetter 400/800 サイトの準備と要件』、Creo ドキュメント番号 73-3145 を参照してください)。

出力デバイスがインストールされ、使用中のときに、オペレーティング環境と接続要件が満たされていることを確認してください。Trendsetter ContinuousLoad のオペレーティング環境の要件は、次のとおりです。

- 温度 :17 ～ 30°C (63 ～ 86°F)
- 湿度 :20 ～ 70% RH (非圧縮)

オフィス環境におけるノイズの放出については、121 ページの「ノイズの放出」を参照してください。

操作環境の要件

出力デバイスは被爆熱ヘッドを使用し、サーマル プレートをイメージングするため、暗室は必要ありません。

交換の必要な部品

Creo が認定したフィルタのみを使用してください。代替または未許可のフィルタを使用しようとした場合、出力デバイスが正しく動作しないことがあります。

Trendsetter ContinuousLoad の使用に必要な部品は、次のとおりです。

表 2: 部品

品目	説明
フィルタ	空気をきれいに保つために、出力デバイスには多数のフィルタが使用されています。詳細は、47 ページの「エア サプライ フィルタの交換」を参照してください。
塵フィルタ	Trendsetter のすべてのモデルに塵除去システムが装備されています。詳細は、59 ページの「汎用塵除去キャビネット フィルタの交換」を参照してください。
プロセッサ消耗品	プロセッサの消耗品に関連する情報については、メーカーの資料を参照してください。

サポートされているメディア

複数のメディア サイズ

設置時に、出力デバイスは使用するメディアのサイズに合わせて設定されます。Print Console のメディア サイズは後で変更できます。詳細は、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。Trendsetter ContinuousLoad によりサポートされているメディア サイズのリストは、19 ページの「サポートされているメディア サイズ」を参照してください。

サポートされているメディアに関する最新情報は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

サポートされているメディア サイズ

ContinuousLoad

表 3: サポートされているメディア サイズ

最大サイズ	最小サイズ	厚さ
838 mm x 1,118 mm 33" x 44" (800 モデル) 32" x 30" (400 モデル)	419 mm x 521 mm 15" x 20"	0.15 mm ～ 0.3 mm 0.006" ～ 0.012"

手動バイパス

表 4: サポートされているメディア サイズ

最大サイズ	最小サイズ	厚さ
838 mm x 1,118 mm 33" x 44" (800 モデル) 32" x 30" (400 モデル)	330 mm x 229 mm 12" x 9"	0.15 mm ～ 0.3 mm 0.006" ～ 0.012"

メディアの方向

次の情報は、出力デバイスによりサポートされている各メディアサイズの適切な方向を識別します。

表 5: サポートされているメディアの方向

メディア サイズ:	最小	最大
ドラムの周囲	305 mm (12") (手動ロード / アンロード モード)	838 mm (33")
ドラム軸に沿って	229 mm (9") (手動ロード / アンロード モード)	1,118 mm (44") (800 モデル) 30" (400 モデル)

縦方向に関する詳細

縦方向を使用すると、イメージング時間を短縮できます。しかし、縦方向を使用する前に次のことを考えてください。

- 出力デバイスはクランプの下をイメージングできないため、メディアの端までイメージングできません。
- 出力デバイスはメディアの短い辺に沿って見当するため、長い辺にパンチする必要があります (短い辺にパンチするには、プレートを正確な正方形に切り取る必要があります)。

メディアの寸法

次のメディアの寸法が、Trendsetter ContinuousLoad に適用されます。それらは、プレスにメディアを載せるなど、他のプレスルームの操作で定義したメディア寸法を適用しない場合があります。

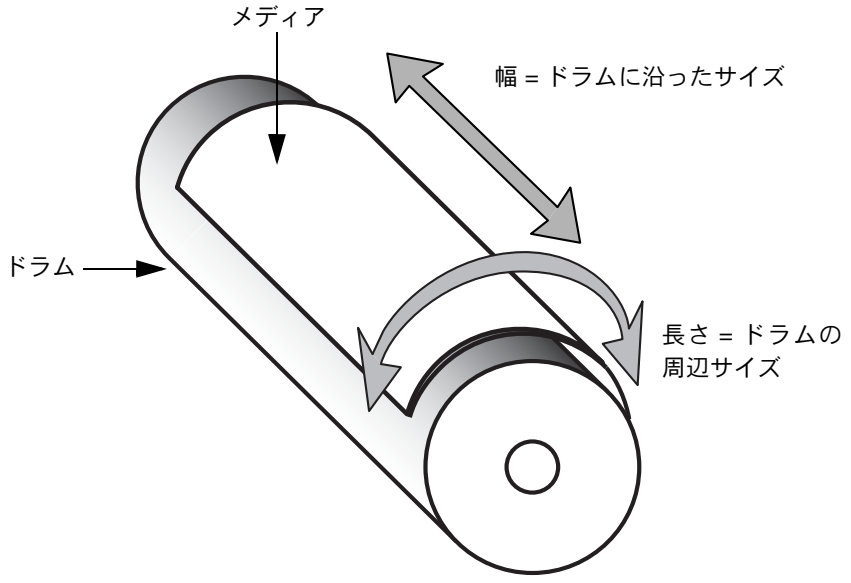


図 7: メディア寸法 — 横方向

重要: 出力デバイスはドラムに沿ったメディアのサイズを測定しません。メディアの長さ (ドラムの周辺サイズ) は正しくても、幅 (ドラムに沿ったサイズ) が Print Console で選択したメディア サイズに対応していない場合、出力デバイスはそのまま処理を続行してメディアをイメージングするか、エッジ検出エラーが発生します。これによって、出力デバイスが損傷することはありません。ただし、出力デバイスは誤ったサイズのメディアがイメージングされたことを通知しません。

メディアの処理

Trendsetter ContinuousLoad によってサポートされているメディアの一部には、イメージング後に処理が必要なものがあります。メディアの処理については、メディアのメーカーのドキュメントを参照してください。

3

操作

Trendsetter の開始 24
Trendsetter のシャットダウン 25
メディアのロード 26
手動操作 30
メディアの見当 31

Trendsetter の開始

ウォームアップ時間

Trendsetter ContinuousLoad 出力デバイスはオンにしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかることがあります。出力デバイスがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。イメージングのために提出されたファイルは、出力デバイスの準備が完了するまでワークステーションで待機します。

出力デバイスを開始する

1. 出力デバイスをオンにします。

   電源スイッチは電源ボックス パネルの一番上にあります。電源スイッチを時計回りに回してください。

   出力デバイスが開始しない場合、回路ブレーカーをトリップする必要があります。回路ブレーカーをリセットする方法については、95 ページの「トリップされた回路ブレーカー」を参照してください。

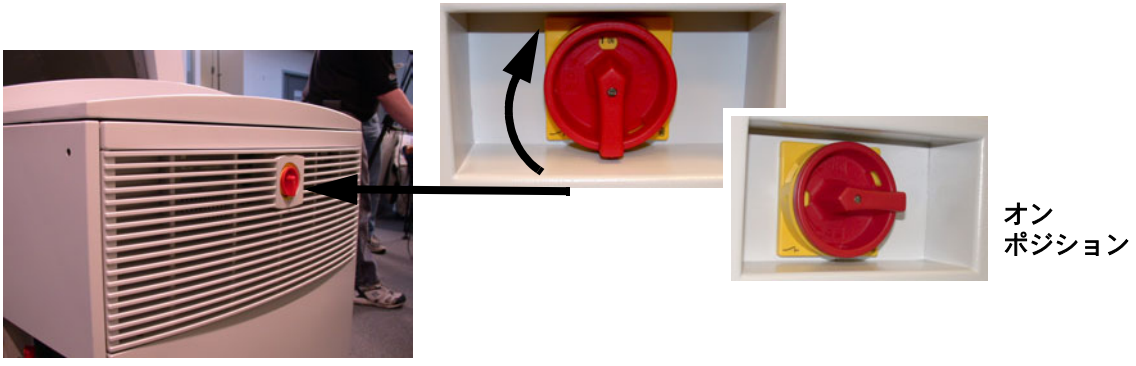


図 8: 電源スイッチをオン ポジションまで回します

2. ワークステーションをオンにします。

   ワークステーションをオンにするための詳細については、ワークステーションと共に受け取った資料を参照してください。

3. Print Console の始動

   Print Console の開始については、『Print Console クィック スタート ガイド』を参照してください。

   出力デバイスの準備が完了したら、ステータス ライトが青に点灯します。

Trendsetter のシャットダウン

通常は、ワークステーションを常に実行中にしておきます。

Print Console の終了に関しては、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

注: 出力デバイスをシャットダウンする前に、ドラムからすべてのメディアを取り除きます。

出力デバイスをシャットダウンする

➢ 電源スイッチを使用して出力デバイスをオフにします。

電源スイッチは電源ボックス パネルの一番上にあります。電源スイッチを反時計回りに回してください。

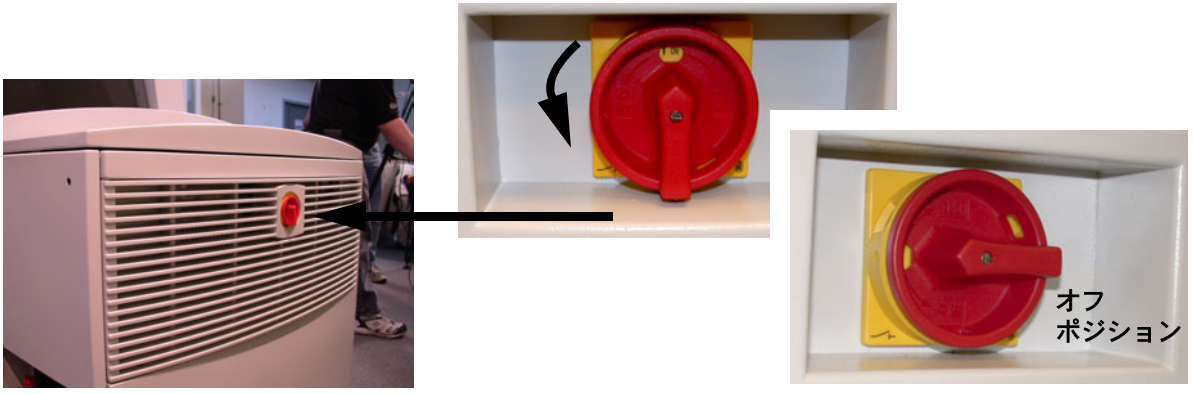


図 9: 電源スイッチをオフ ポジションまで回します

メディアのロード

プレートやフィルムなどのメディアは、ロード ランプ上にロードされます。最初のプレートをロードした後、オペレータは 2 番目のプレートをロードする位置をあらかじめ設定できます。イメージングを行った後、プレートはインライン プロセッサまたはプレート スタッカーに返されます。フィルムをロードした後、オペレータは手動でバイパスを行う必要があります (30 ページの「手動操作」を参照してください)。手動バイパスの実行中は、2 番目のフィルムの位置をあらかじめ設定できません。イメージングを行った後、フィルムはロード ランプに返されます。

プレートやフィルムのロード手順はほぼ同じです。若干の違いがある場合には注記に示されます。



注意: プレートのエッジは鋭い可能性があります。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

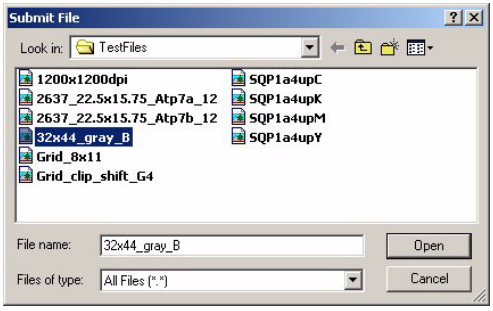


重要: フィルムをイメージングするには、出力デバイスのフィルム ガイドが必要になります。これは、無料で注文できるオプション機器です。詳細については、認定されたサービス代理店までお問い合わせください。

Polaroid DryTech フィルムを使用する前に、フィルム用に Print Console を設定する必要があります。特にカット エッジのある Polaroid DryTech フィルムを使用するときは、非常に注意深く取り扱ってください。フィルムからフロント レイヤが一度はがれてしまうと、ラミネートされなくなり、イメージングができなくなります。詳細については、Print Console オンライン ヘルプを参照するか、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

メディアをロードする

1. Print Console で、イメージングするファイルを送信します。



詳細な手順については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

2. 出力デバイスはイメージングのためのメディアの受付準備ができていることを確認します。

この意味は次のとおりです。

- Print Console にロードするメディアのサイズおよび種類を示すダイアログ ボックスが表示されます。
- オペレータ インターフェイスのステータス ライトは青に点灯します。
- ロード ランプのベースにあるシールされたメディアの入口のドアが開いています。

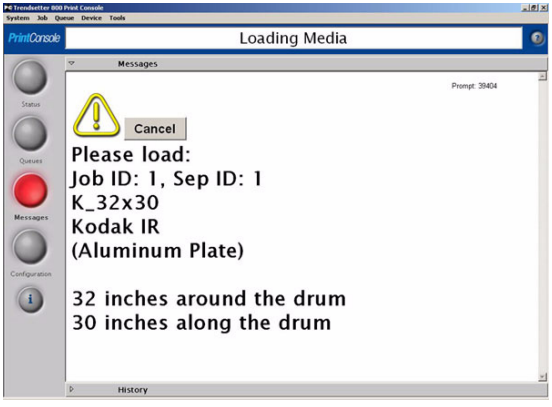


図 10: [Loading Media (メディアのロード)] ダイアログ ボックス

3. ロードするサイズとタイプを決めます。
4. グローブを着用し、パッケージからメディアを取り出します。メディアに付着しているパッケージ材料を破棄します。

注: ロード ランプにメディアを置く前または後のいずれかに、すべてのスリップ シートを取り除きます。

注意: 出力デバイスでプレートをイメージングする前に、すべてのスリップ シートとパッケージ材料がプレートから取り除かれていることを必ず確認してください。そうしないと、サーマル レーザーが紙に点火し、出力デバイスで火事が起こります。

5. ロード ランプにメディアを置きます。

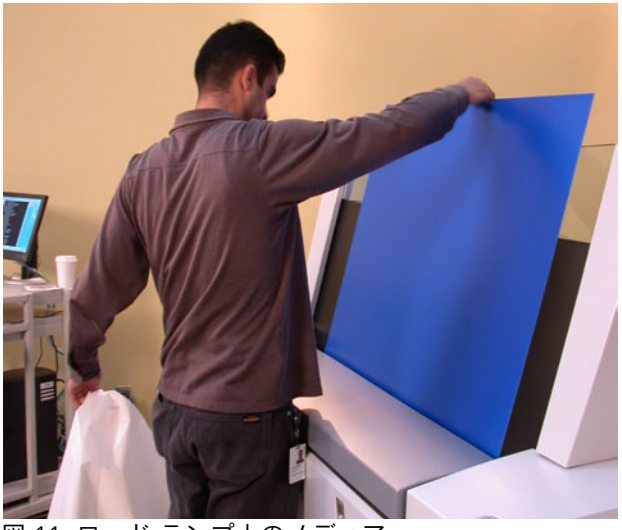


図 11: ロード ランプ上のメディア

メディアをロードするときに、出力デバイスに寄りかからないでください。そうすると、メディアの見当が間違うことになります。

注: メディアのイメージング面 (エマルジョン面) が自分の方を向いていることを確認します。メディアでは、エマルジョン面が通常は艶消し面になっています。

注: Polaroid DryTech フィルムでは、イメージングされる面がフィルムの背面よりも艶があります。

6. メディアを出力デバイスに向かって、ロード ランプのベースが見当ピンに触れるまでゆっくりと下ろします。
7. ロード ランプのメディアを該当するメディア整列ラベルに揃えます。

   メディアの縦のエッジがロード ランプの縦のエッジと平行であることを確認してください。

   - 559 mm (22") 以上のメディアはロード ランプで中央揃えしなければなりません (見当ピンに正しくはまっているため、メディアをシフトする必要はありません)。
   - 324 mm (12.75") 以上で 559 mm (22") までのメディアは、約 102 mm (4") 中心から右へずらす必要があります。これにより、メディアは見当ピンに適切にはまります。
   - 324 mm (12.75") 以下のメディアは、約 165 mm (6.5") 中心から右へずらさなければなりません。これにより、メディアは見当ピンに適切にはまります。



注 : ロード ランプにメディア整列ラベルがない場合、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

8. メディアをリリースします。
9. [**Start (スタート)**] ボタンを押します。



重要 : [**Start (スタート)**] ボタンを押すときに、メディアに触れないでください。

   Trendsetter ContinuousLoad 出力デバイスはメディアをロードし (ステータス ライトは緑に点滅)、メディアのイメージングを行います (ステータス ライトは緑に点灯)。

   イメージングされたメディアはアンロード テーブルに取り出され (ステータス ライトは青に点灯)、プレート プロセッサまたはスタッカーに送られます。

10. イメージングのジョブが待機している場合は、もう一つのプレートを事前テーブルに置きます。

    最初のプレートがプロセッサまたはスタッカに送られている間、ロード テーブルに次のプレートがロードされます。

    出力デバイスは、ロード テーブルが空になるか、イメージングまたはプレートの取り扱い時にエラーが発生するまで、プレートのロードおよびイメージングを続行します。

手動操作

自動的なマルチプレート ロードが必要でないか、現実的でない状況において、またはフィルムの場合、出力デバイスは手動メディア ロードをサポートします。ロード ランプを使って、手動でロードした 1 つのメディアを配置したり整列したりします。



注： Trendsetter ContinuousLoad システムは、手動ロード機能を使用するために、あらかじめ手動メディア ロードに対して設定することが必要です。



注意： プレートのエッジは鋭い可能性があります。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

イメージングのためのメディアの手動ロード

1. Print Console では、次のように行います。
   - [**Configuration (設定)**] ボタンをクリックし、[**Print Setups (プリント設定)**] をクリックします。
   - 手動ロードに使用するメディアのサイズを選択し、[**Make Default (デフォルトに設定)**] をクリックします。
   - [**Manual Bypass (手動バイパス)**] チェックボックスを選択し、[**Apply (適用)**] をクリックします。
2. 26 ページの「メディアのロード」の手順 1 ～ 9 を行います。

   Trendsetter ContinuousLoad がロードされ、メディアがイメージングされます。

   メディアはロード ランプ上の元の場所に返され、ステータス ライトが青に点滅します。
3. グローブを着用し、メディアの端をつかみます。メディアを上に持ち上げ、注意深くロード ランプからメディアを取り外します。

4. 自動操作に戻る

   - Print Console で [**Configuration (設定)**] ボタンをクリックし、[**Print Setups (プリント設定)**] をクリックします。
   - 自動操作に使用するメディアのサイズを選択し、[**Make Default (デフォルトに設定)**] をクリックします。
   - [**Manual Bypass (手動バイパス)**] チェックボックスをクリアし、[**Apply (適用)**] をクリックします。

   出力デバイスは、自動操作の準備ができました。

メディアの見当

メディア整列ラベルは、設置時に出力デバイスのロード ランプに貼り付けられています。貼り付けられていない場合、自分自身でロード ランプにラベルを貼り付けることができます。これらのラベルは、ロード中にメディアに整列させるときのガイドラインとなります。出力デバイスのレーザーは、より正確な見当を行います。レーザー光線は、次のような場合、15 ミクロン内に見当を修正します。

- ロード ランプの正しい位置から 3 mm (0.125") 以内にメディアをロードします。メディア整列ラベルが貼られている場合、それを使用して素早く正しい位置を識別します。
- メディアをロード　ランプのベースの見当ピンに合わせて置きます。これらのピンは、ドラム上にメディアの見当が正しく配置されることを確認します。

これらの手順を実行すると、メディア エッジの検出がより高速に行われるため、全体的なイメージング時間が短くなります。

プレートの曲げとパンチング

既存のプレートの曲げとパンチングの機器が、出力デバイスの見当ポイントに合うように設定されていることを確認してください。『Trendsetter 400/800 Quantum サイトの準備と要件』の資料 (Creo 資料番号 73-3145) を参照してください。

詳細については、認定されたサービス代理店までお問い合わせください。

4 メンテナンス

メンテナンス スケジュール 34
安全のために 36
外部面の清掃 37
出力デバイスの内部へのアクセス 39
出力デバイスの内部の清掃 44
エッジ検出ストリップの清掃 45
プレート ローラーの清掃 46
エア サプライ フィルタの交換 47
汎用塵除去キャビネット フィルタの交換 59
ロード ランプ上のサクション カップの交換 59

メンテナンス スケジュール

35 ページの表 6 では、出力デバイスから最適なパフォーマンスと品質を達成するために必要なメンテナンスについて概説しています。

このメンテナンスを実行しない場合、パフォーマンスが劣化し、出力デバイスに深刻な損害を与える可能性があります。スケジュールされたダウンタイムが数時間必要ですが、定期的なメンテナンスにより出力デバイスが適切に維持され、予定外の故障を最小限に抑えます。

出力デバイスのメンテナンスを実行するときに記録をとります。

Creo サービス契約を締結している場合、認定されたサービス代理店により 6 ヶ月ごとの定期的なサービスを計画してください。しかし、操作状況がより頻繁なメンテナンスを必要とする場合、サービスの前にメンテナンス手順を実行することを強くお勧めします。



警告: メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。



危険: アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

表 6: 推奨メンテナンス手順のスケジュール

場所	説明	メンテナンス手順	清掃	... ごとに交換
出力デバイス エクステリア	エクステリア面	37 ページを参照してください。	毎週	非適用
ロード ランプ	グラス ランプ	38 ページを参照してください。	毎週	非適用
	サクション カップ	59 ページを参照してください。	毎月	6 ヶ月ごとに検査し、磨耗している場合は取り替え
塵除去 キャビネット	特定の塵フィルタ	『汎用塵除去 キャビネット オペレータ ガイド』を参照してください。	非適用	Print Console に次のエラー メッセージが表示されとき
エッジ検出 ストリップ	ドラムのエッジ検出ストリップ	45 ページを参照してください。	3 ヶ月ごと、または汚れに応じて	非適用
プレート ローラー	メディアのロード中にドラムにメディアを保持するゴム製のローラー	46 ページを参照してください。	毎月	非適用

場所	説明	メンテナンス手順	清掃	... ごとに交換
右下のバックパネルの圧縮エアサプライフィルタ	5 µm フィルタ	51 ページを参照してください。	非適用	6 ヶ月
	0.01 µm フィルタ	54 ページを参照してください。	非適用	6 ヶ月
	フィルタ ボール	オイルまたは水をチェックしてください 参照するもの 49 ページ	毎週	ひびが入ったとき
ファン ボックス パネル内の吸気フィルタ	吸気フィルタ	57 ページを参照してください。	非適用	6 ヶ月

交換の詳細については、付録 A の「部品番号」を参照してください。

安全のために

出力デバイス アクセス パネルは、レーザー放射と可動機械部品からの怪我から保護するインターロック システムを装着しています。出力デバイスが動作中にパネルが開いたり、取り外された場合、すべての機械的可動部品が活動を停止します。機械的な動作が停止しない場合、次の手順に従ってください。

1. 出力デバイスをシャットダウンする。
2. アクセス パネルを閉じるか、交換する。
3. 認定されたサービス代理店に問い合わせてください。

出力デバイスの内部部品に触れたり、停止しようとしないでください。



危険: アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

外部面の清掃

毎週、Trendsetter ContinuousLoad の外部を清掃します。

出力デバイスの外部面を清掃することにより、外観と仕上げを保存し、視覚インジケータとマークが明確に見えることを確認します。もっとも重要なことは、定期的な清掃により、アクセス パネルを取り外すか開いたときにデバイスに落ちる埃の量が減ります。

塵の蓄積に対する最も敏感な部分はファン ボックス パネル、電源ボックス パネル、前面とトップ パネル、および出力デバイスでメディアが出入りする部分です。

塵除去キャビネットの外部を毎週、清掃してください。『汎用塵除去キャビネット オペレータ ガイド』を参照してください。

信頼性の高い、高品質の出力は、出力デバイスの外部をクリーンに保つことを前提としています。

清掃時の推奨事項

出力デバイスの外部面を清掃する前に、すべてのアクセス パネルのシームを掃除機で吸い上げ、蓄積した埃を取り除きます。頻繁に行い、環境が相対的に乾燥していて、蒸気が少ない場合、乾いた布で面を簡単に拭くだけでも十分な場合もあります。清掃を徹底的に行うときは、水と中性洗剤で浸した布を使用します。きれいな、ぬれた布で、すべての残った洗剤を徹底的にふき取ってください。



警告: 出力デバイスの内側には水またはその他の液体が入り込まないようにしてください。水または液体が入り込むと、怪我をしたり、感電死する危険性があるばかりか、機器に損傷を与えることがあります。

汚れの除去

出力デバイスの外部面から汚れ (インクなど) を除去するためには、水と中性洗剤を浸した布で汚れを直ちにふき取ってください。きれいな、ぬれた布で、すべての残った洗剤を徹底的にふき取ってください。中性洗剤と水では汚れが落ちない場合、汚れを除くために少量のイソプロピル アルコール,を使用してください。

ロード ランプの清掃

きれいな布とガラス クリーナーで毎週、ガラス ロード ランプを清掃してください。



注意 : ロード テーブルやオペレータ ドアに直接、化学ガラス クリーナー水を吹きかけないでください。出力デバイスの内部に水が入り込み、損傷を与える可能性があります。まず、布を洗剤で濡らし、ロード ランプを拭いてください。

ガラス ロード ランプを清掃する

1. きれいな布をガラス クリーナーで濡らします。
2. ロード ランプをそっと拭き、そのまま乾かします。

出力デバイスの内部へのアクセス

定期的なメンテナンスとトラブルシューティングでは、出力デバイスの一部の内部領域へのアクセスを必要とします。以下の節では、これらの領域へのアクセスの方法を示します。



図 12: 内部にアクセスするためのパネル

前面パネル、ファン ボックス パネル、および電源ボックス パネルは、出力デバイスの内部へのオペレータのアクセスは制限されています。ファン ボックス パネルでは、吸気フィルタにアクセスできます。電源ボックス パネルでは、出力デバイス ポンプのヒューズと回路ブレーカー にアクセスできます。電源ボックス パネルを取り外すと、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができるサービス アクセス パネルが見えます。

アクセスできない出力デバイスのパネルは、背面パネル、電源ボックスの端のトップ パネル、ファン ボックスの端のトップ パネルです。認定されたサービス代理店のみが取り外すことができます。

注: パネルのオープンと取り外しにより、レーザーへの電源が切断されます。パネルが閉じたり、交換されてからレーザーが再びウォームアップするまで、最大 2 分間かかります。レーザーがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。

注意: アクセス パネルを開くことは避けられませんが、埃の蓄積を敏感なコンポーネントの中や周囲から減らすために、最小限にとどめてください。

前面パネルの開閉

次のような場合に、前面パネルを開く必要があります。

- ドラムからスタック プレートを取り外す — 89 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照。
- プレート ローラーを清掃する — 46 ページの「プレート ローラーの清掃」を参照。
- エッジ検出ストリップを清掃する — 45 ページの「エッジ検出ストリップの清掃」を参照。

注意： ほとんどの時間、前面パネルはロックされています。これらの指示に従って、前面パネルを開いてください。過剰な物理的な力をかけると、パネルが損傷します。

前面パネルを開く

1. Print Console で、[**Device (デバイス)**] メニューから [**Unlock panel doors (パネル ドアのロック解除)**] を選択します。

   前面パネルのロックが解除されます。

2. 前面パネルの 2 個のラッチを 90° 反時計回りに (垂直の位置まで) 回転させます。

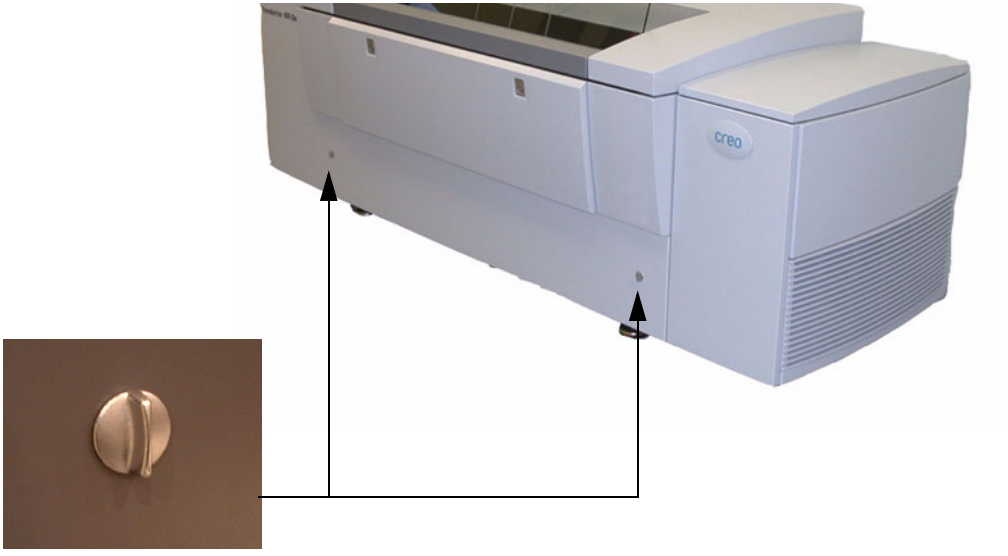


図 13: 前面パネルのラッチ

3. 前面パネルを上に持ち上げます。

   前面パネルはガス ストラットで制御されており、自動的に上に開きます。

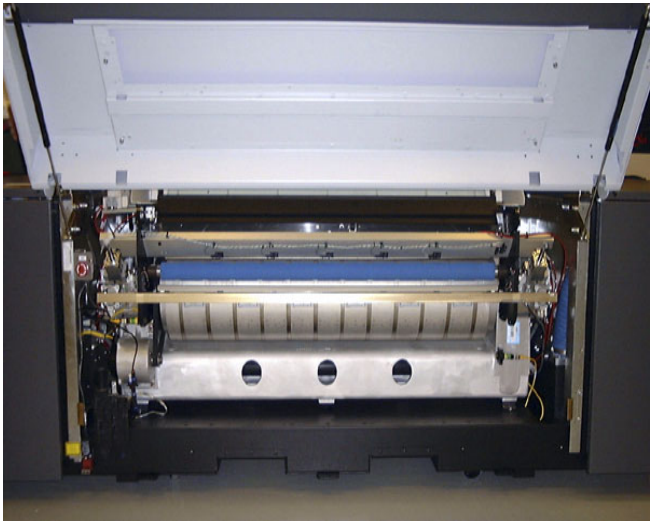


図 14: 前面パネルを持ち上げます。

注意: 持ち上げたパネルに頭をぶつけないでください。

前面パネルを閉じる

➢ フロント パネルを閉じて、両方のラッチを 90° 時計回りに (水平の位置まで) 回転させ、しっかりと締めます。

フロント パネルのロックが再びかかります。

ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け

吸気フィルタを交換するためには、ファン ボックス パネルを取り外す必要があります。

重要: メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。

ファン ボックス パネルを取り外す

1. 手のひらを使って、ファン ボックスの両方の上端をカチッと音がするまで押します。

   パネルがポンと開きます。



図 15: ファン ボックス パネルを取り外す

2. パネルを上に出力デバイスから離すように持ち上げます。

   パネルを邪魔にならない場所に置きます。

ファン ボックス パネルを取り付ける

1. ファン ボックス パネルを持ち上げ、パネルの穴と出力デバイスの位置決めピンを整列させます。パネルの底をピンの上に乗せます。

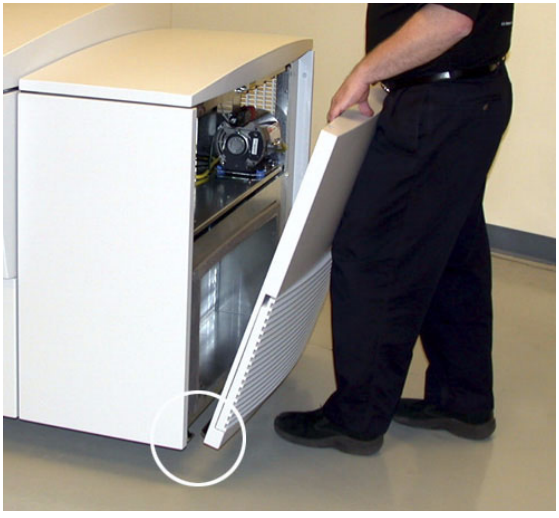


図 16: ファン ボックス パネルを取り付ける

2. パネルをデバイスの上に乗せ、カチッというまでパネルの両方の上端を押します。

   両方のファン パネルのラッチがロックされます。

電源ボックス パネルの取り外しと取り付け

回路ブレーカーがトリップしたときにリセットするために、またはポンプ ヒューズを交換するためには、電源ボックス パネルを取り外さなければなりません。



重要: メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。

電源ボックス パネルを取り外す

1. 手のひらを使って、電源ボックスの両方の上端を、カチッと音がするまで押します (方法については、42 ページの図 15 を参照)。

   パネルがポンと開きます。

2. パネルを上に出力デバイスから離すように持ち上げます。

   パネルを邪魔にならない場所に置きます。

電源ボックス パネルを取り付ける

1. 電源ボックス パネルを持ち上げ、パネルの穴と出力デバイスの位置決めピンを整列させます。パネルの底をピンの上に乗せます (方法については、43 ページの図 16 を参照してください。)
2. パネルをデバイスの上に乗せ、カチッというまでパネルの両方の上端を押します。

   両方の電源パネルのラッチがロックされます。

3. 出力デバイスの電源をオンにします。

出力デバイスの内部の清掃

35 ページの表 6 に示すように、出力デバイスの内部に定期的にルーチンのメンテナンスを実行する必要があります。



警告: 出力デバイスの内側には水またはその他の液体が入り込まないようにしてください。水または液体が入り込むと、怪我をしたり、感電するばかりか、機器に損傷を与えることがあります。

エッジ検出ストリップの清掃

メディアのエッジにイメージを登録するには、出力デバイスはエッジ検出アルゴリズムを使用します。このアルゴリズムは、先頭のエッジ クランプの脇、出力デバイスの内部のドラムの面にある 741 mm (29.2" ストリップ セットに依存しています。このストリップは黒の艶消しです。

エッジ検出の誤作動を避けるためには、3 ヶ月ごと、または汚れに応じてエッジ検出ストリップを清掃する必要があります。

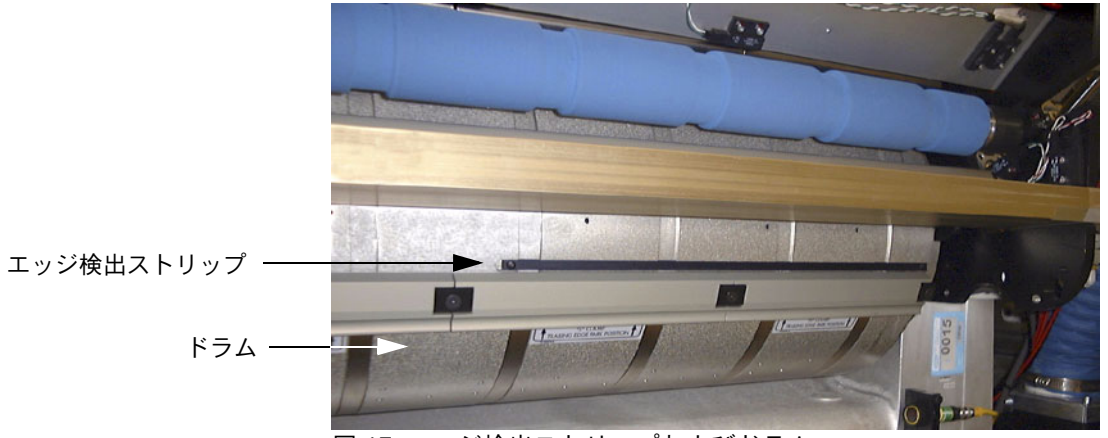


図 17: エッジ検出ストリップおよびドラム

エッジ検出ストリップを清掃する

1. 出力デバイスが現在、メディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   25 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. 前面パネルを開きます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。
4. エッジ検出ストリップが見えるまでドラムを手で回転させます。

   45 ページの図 17 は、ドラムとエッジ検出ストリップの位置を示します。

5. (細かい作業のために) 糸くずの付いていない布を、イソプロパノール (90% 以上) と水を混ぜた溶液に浸し、各ストリップを 1 度ずつ 1 方向にのみ拭きます。

   ストリップに指紋や汚れを付着させないように注意してください。

注: エッジ検出ストリップの清掃用には、Kimberly Clark の Kimwipes® EX-L (Wipers) をお勧めします。

注意: イソプロパノールの製造業者からのすべての注意事項をよく読み、従ってください。そうしないと、怪我をしたり、出力デバイスに損傷を及ぼす可能性があります。

6. 前面パネルを閉じます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

プレート ローラーの清掃

プレート ローラーを毎月、清掃します。

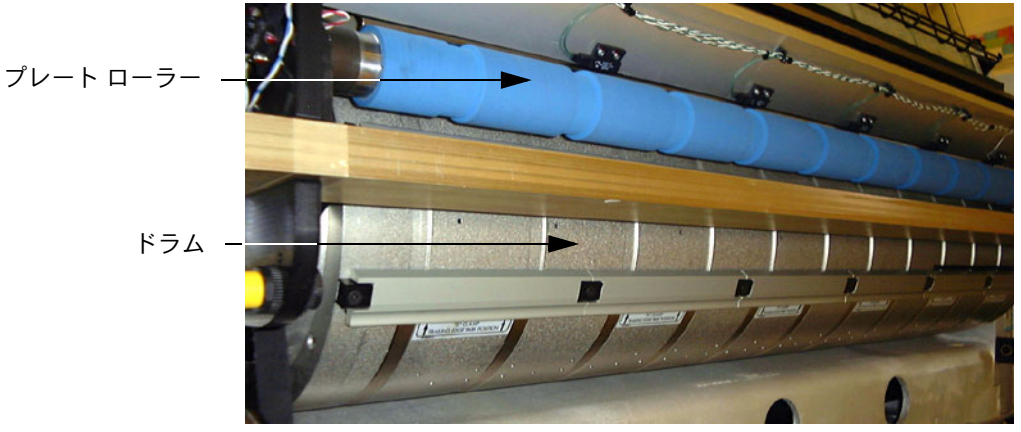


図 18: プレート ローラーおよびドラム

注意: プレート ローラーに損傷を与えたり、曲げないでください。また、圧力をかけないでください。

プレート ローラーを清掃する

1. 出力デバイスが現在、メディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   25 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. 前面パネルを開きます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。
4. プレート ローラー (明るい青) を (細かい作業のために用意した) 糸くずの付いていない濡れた布でそっと拭きます。
5. 前面パネルを閉じます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

エア サプライ フィルタの交換

出力デバイスには 2 つのエア フィルタ システムがあります。

- 圧縮エア サプライ フィルタ — 右下のバック パネルの 2 つのフィルタ
- 冷却エア フィルタ システム — ファン ボックス パネルを取り外すことにより、この吸気フィルタにアクセスできます

これらのフィルタを定期的に検査し、交換してください。

フィルタ交換の頻度

フィルタの外観だけでフィルタがきれいであるか、交換が必要であるかを判断しないようにしてください。操作環境に粒子の粗い埃がある場合はまだ交換が必要なくても汚く見え、小さな粒子が空気中にある場合は交換が必要でもきれいに見える場合があります。

エア サプライ フィルタは 6 ヵ月ごとに交換してください。担当のサービス代理店をお持ちのお客様の場合、6 ヶ月のサービス点検の際に認定されたサービス代理店がこの作業を行います。しかし、操作状況がより頻繁なエア サプライ フィルタの交換を必要とする場合、サービス点検の前にメンテナンス手順を実行することを強くお勧めします。

圧縮エア サプライ フィルタ

2 つの圧縮エア サプライ フィルタがあります。

- 5 ミクロン

  このフィルタは白です。

- 0.01 ミクロン (micro-mist)

  このフィルタは黒です。

フィルタは出力デバイスの右下の背面パネルにあります。これらのフィルタは、出力デバイスの空気圧系統に供給されるクリーンでドライな圧縮空気をフィルタリングします。

注意： 圧縮空気をオフにしてから、エア サプライ フィルタを交換してください。

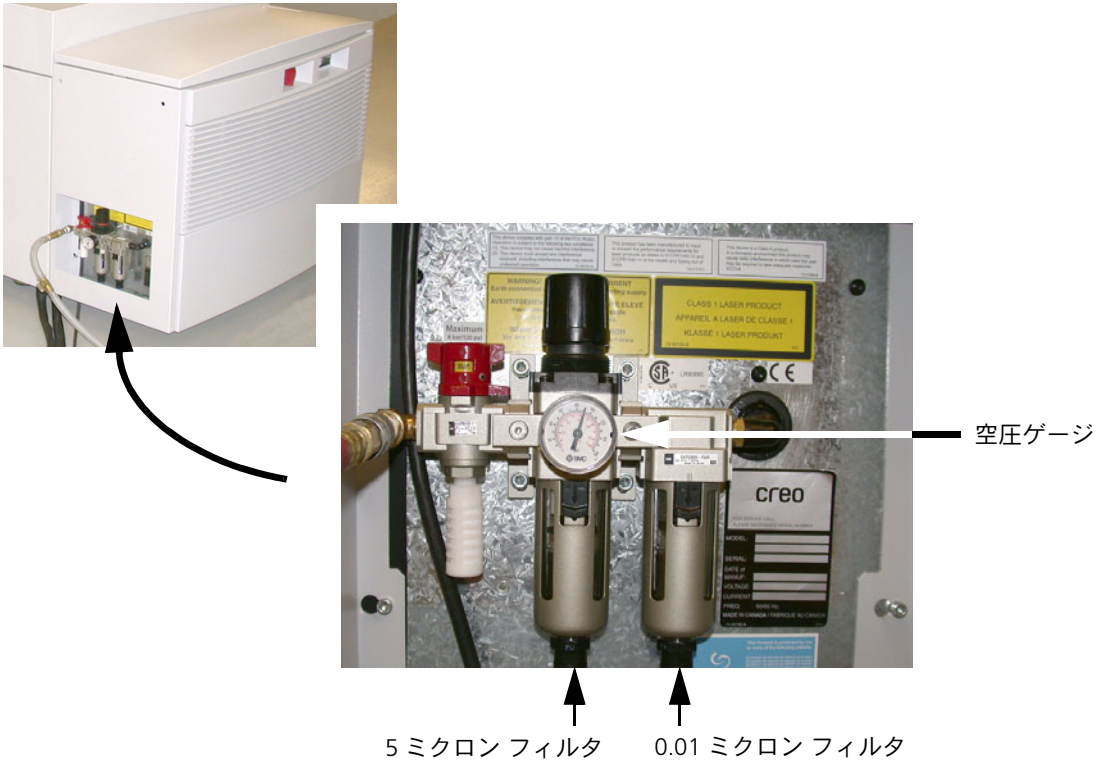


図 19: 圧縮エア サプライ フィルタ システム

圧縮エア サプライ フィルタは、6 ヶ月ごとに交換しないと詰まる可能性があります。詰まったフィルタは、出力デバイスに空圧の問題を生じさせます。フィルタを落としてしまうと、汚れが出力デバイスのエア システムに損傷を与えることがあります。

両方の圧縮エア サプライ フィルタを同時に交換してください。フィルタを 1 つだけ交換するのは避けてください。

圧縮空気をオフにしてから、圧縮エア サプライ フィルタを交換してください。圧縮空気をオフにすると、出力デバイスから空気が完全に漏れ、フィルタ デバイスの空圧ゲージが 0 に下がります。圧縮空気をもう一度オンにすると、フィルタ デバイスの空圧ゲージは、通常の空圧 90 psi を指します。

交換部品

Creo Inc. から圧縮エア サプライ フィルタ システムの交換部品を注文できます。付録 A の「部品番号」を参照してください。



警告: 圧縮エア サプライ システムで使用されるフィルタのメーカーからのすべての注意事項を読み、従ってください。そうしないと、怪我をしたり、出力デバイスに損傷を及ぼす可能性があります。

圧縮エア サプライ フィルタの検査

圧縮エア サプライ フィルタは毎週、検査してください。

水または油が付着していないか、フィルタ ボールを検査します。水または油が付着している場合は、使用しているエア コンプレッサの認定サービス代理店に通知してください。

水または油は、外部の圧縮エア サプライ システムから入ったものです。外部のエア サプライ システムを検査し、修理しておくことが重要です。そうしないと、Trendsetter ContinuousLoad に致命的な損傷を与えてしまう可能性があります。



警告: 圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、深刻な怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。

フィルタを検査する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

   51 ページの図 20 または 54 ページの図 24 を参照してください。
3. 出力デバイスをシャットダウンします。

   25 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
4. フィルタ　ボールに水または油が付着していないか、フィルタ ボールにひびがはいっていないかをチェックします。



注意： フィルタ ボールに水や油を発見した場合は、エア コンプレッサの認定サービス代理店に直ちに通知してください。

圧縮エア サプライの仕様

出力デバイスの圧縮エア サプライは次に示す ISO 8573 規定に準拠する必要があります。

- 微粒子の最大サイズ — 150 ミクロン (0.006 インチ)
- 固体汚染物質の濃度 — 8 mg/m^3 (0.000216 ounce/$yard^3$)
- 最大圧力露点 — 3°C (37.4°F)
- 最大オイル含量 — 5 mg/m^3 (0.000135 ounce/$yard^3$)

油が蒸発して出力デバイスにかからないように、気温は通常の室温を超えないようにしてください。

5 ミクロン フィルタの交換

5 ミクロン フィルタを 6 ヶ月ごとに交換します。

5 ミクロン フィルタを交換する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンします。

   25 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

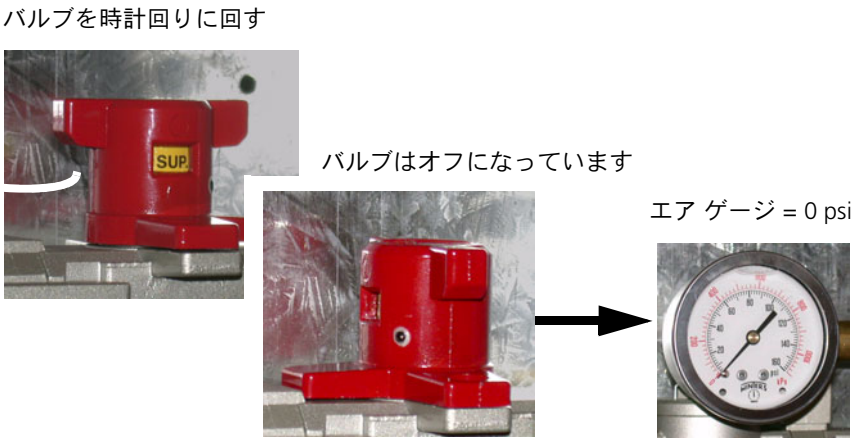


図 20: 圧縮空気の供給をオフにします

注意： 圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、人体に怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。

4. フィルタ ボールの前面の黒いタブを下に引いてください。これは、フィルタ ボールのロックを解除します。

   同時に、フィルタ ボールを 4 分の 1 回転 (いずれの方向でも可能) させ、フィルタ ボールを引き下げて取り外します。

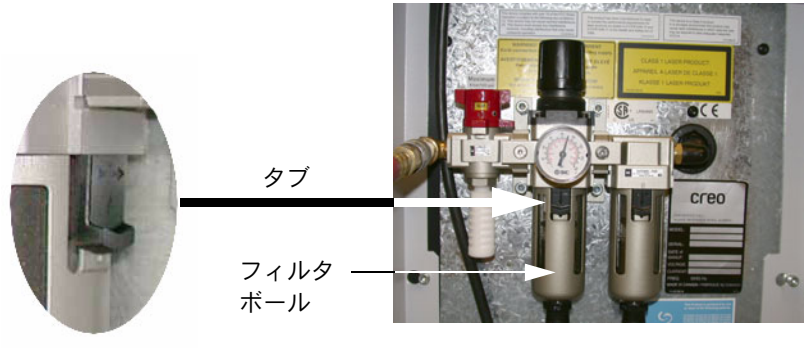


図 21: 黒のタブを引き下げる

5. 黒のプラスチック製のディスクを時計回りに回して、フィルタ アセンブリをゆるめます。
6. 黒のスプールから使用済みの 5 ミクロン フィルタを取り外し、破棄します。



図 22: 5 ミクロン フィルタ

7. 黒のプラスチック製のプラスチック ディスクをフィルタ アセンブリにカチッとするまでねじ止めして、新しい 5 ミクロン フィルタをスプールに装着します。
8. 古いゴム製の O-リングをフィルタ ボールから外し、新しい O-リングと置き換えます。

9. フィルタ ボールが破損していないか、またはひびが入っていないかをチェックしてください。

   交換が必要な場合は認定されたサービス代理店に連絡します。

10. フィルタ ボールに水または油がないかどうかチェックします。

    フィルタ ボールに水または油がある場合は、認定されたサービス代理店にエア サプライを検査させてください。

11. フィルタ ボールをインストールし直します。

    0.01 ミクロン フィルタを装着していない場合は、ステップ 12 をスキップして、54 ページの「0.01 ミクロン フィルタの交換」に進んでください。

12. オレンジのエア遮断バルブを反時計回りに回してオンにし、圧縮空気の供給をオンに戻します。

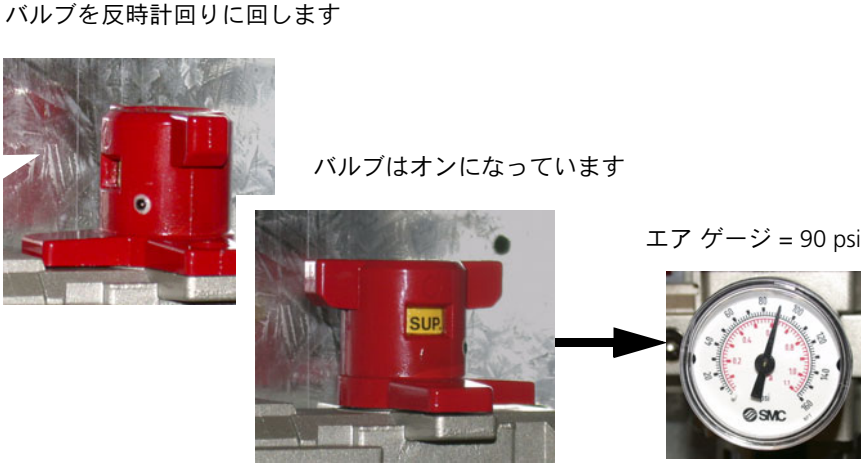


図 23: 圧縮空気の供給をオンにします

空気圧ゲージは約 90 psi を示しているはずです。90 psi を示していない場合は、外部空気供給を調整してください。

0.01 ミクロン フィルタの交換

0.01 ミクロン フィルタを 6 ヶ月ごとに交換します。

0.01 ミクロン フィルタを交換する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンします。

   25 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

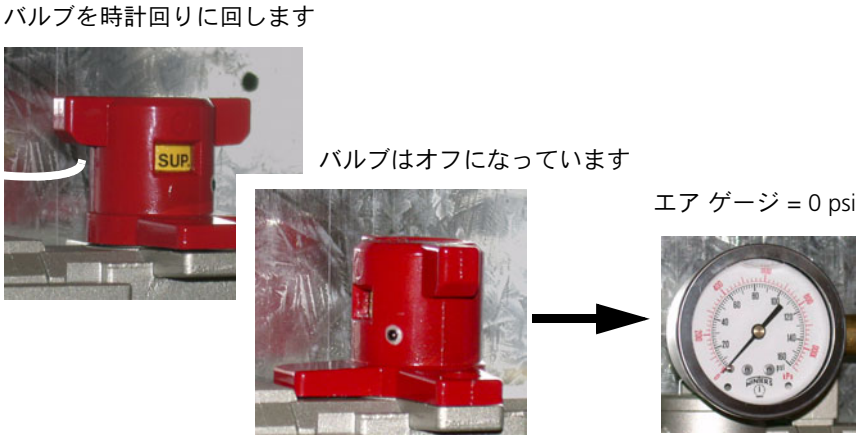


図 24: 圧縮空気の供給をオフにします

注意： 圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、人体に怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。

4. フィルタ ボールの前面の黒いタブを下に引いてください。これは、フィルタ ボールのロックを解除します。

   同時に、フィルタ ボールを 4 分の 1 回転 (いずれの方向でも可能) させ、フィルタ ボールを引き下げて取り外します。

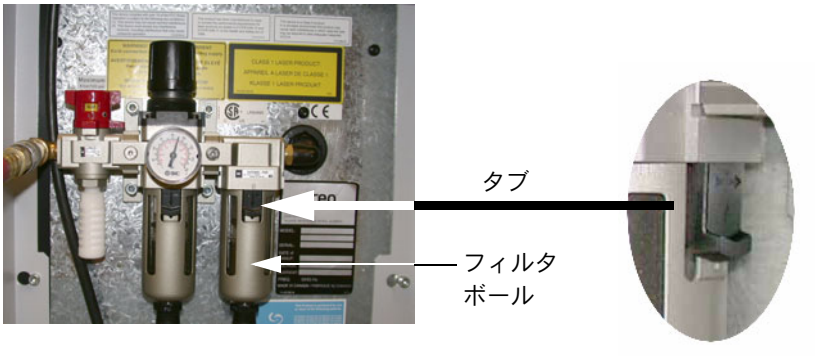


図 25: 黒のタブを引き下げる

5. 使用済みの 0.01 ミクロン フィルタを取り外し、破棄します。



図 26: 0.01 ミクロン フィルタ

6. きつく締め付けられるまでフィルタをねじ留めして、新しい 0.01 ミクロン フィルタを装着します。
7. 古いゴム製の O- リングをフィルタ ボールから外し、新しい O- リングと置き換えます。
8. フィルタ ボールが破損していないか、またはひびが入っていないかをチェックしてください。

   交換が必要な場合は認定されたサービス代理店に連絡します。
9. フィルタ ボールに水または油がないかどうかチェックします。

   フィルタ ボールに水または油がある場合は、認定されたサービス代理店にエア サプライを検査させてください。

10. フィルタ ボールをインストールし直します。

    5 ミクロン フィルタを装着していない場合は、ステップ 11 をスキップして、51 ページの「5 ミクロン フィルタの交換」に進んでください。

11. オレンジのエア遮断バルブを反時計回りに回してオンにし、圧縮空気の供給をオンに戻します。

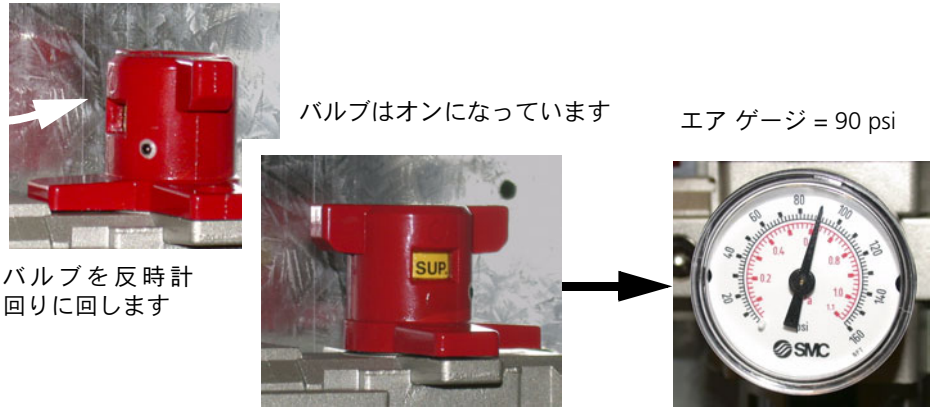


図 27: 空気の供給をオンにします

空気圧ゲージは約 90 psi を示しているはずです。90 psi を示していない場合は、外部空気供給を調整してください。

吸気フィルタ

吸気フィルタはファン ボックス パネル内にあります。フィルタは 6 ヵ月ごとに交換します。汚れた環境では、より頻繁に交換してください。

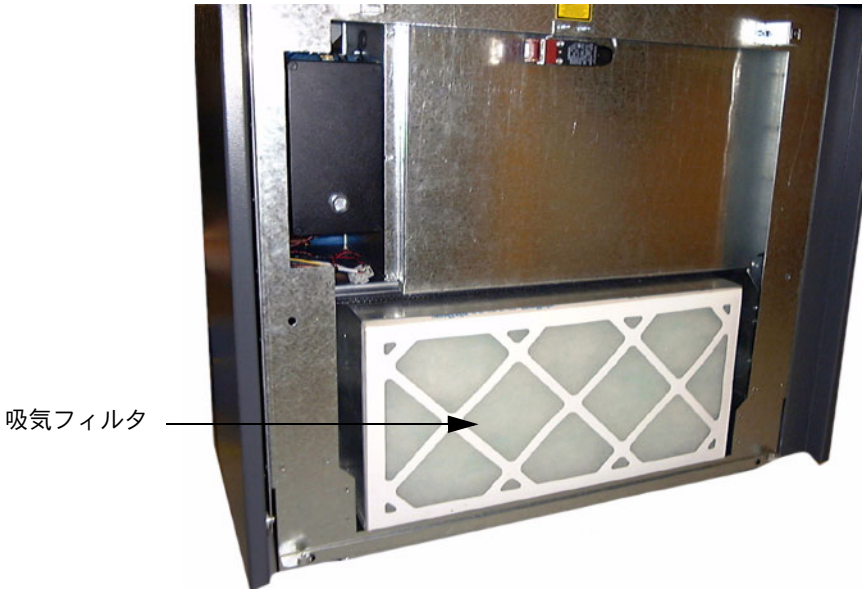


図 28: 吸気フィルタ

交換部品

推奨する吸気フィルタの交換品は Creo, Inc. から注文できます。付録 A の「部品番号」を参照してください。

吸気フィルタの交換

吸気フィルタは白で、50.8 mm (2") の厚さです。新しいフィルタを装着するときは、フィルタの端の空気流入の方向を示す矢印に注意してください。

吸気フィルタを交換する

1. 出力デバイスをシャットダウンします。

   25 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。

2. ファン ボックス パネルを取り外します。

   42 ページの「ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

3. フレームから古いフィルタを取り出します。
4. フィルタ フレームを清掃します。

   フレームを掃除機で清掃するか、乾いた布で拭きます。

5. 新しい吸気フィルタをフィルタ フレームに差し込みます。

   新しいフィルタの端の空気流入の方向を示す矢印に従って、フレームにフィルタを配置します。

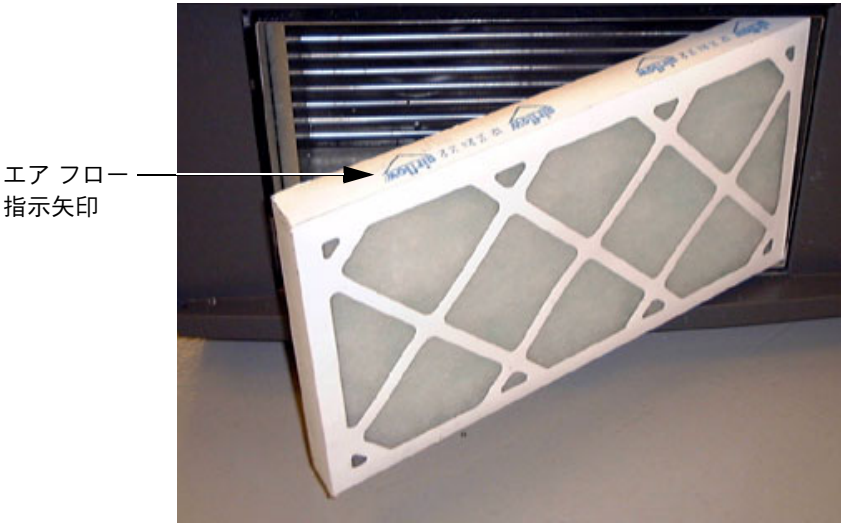


図 29: 吸気フィルタ

6. ファン ボックス パネルを取り付けます。

   42 ページの「ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

汎用塵除去キャビネット フィルタの交換

出力デバイスがオンになっているとき、塵除去システムをチェックして、特定のフィルタの残りの寿命を判断してください。フィルタを交換するときは、Print Console にエラー メッセージが表示されます。フィルタ交換の頻度はメディアのタイプ、メディアの使用量、イメージングの頻度によって決まります。

推奨するフィルタの交換品は Creo, Inc. から注文できます。付録 A の「部品番号」を参照してください。

汎用塵除去キャビネット フィルタの交換についての詳細は、第 4 章:「汎用塵除去キャビネット オペレータ ガイド」を参照してください。

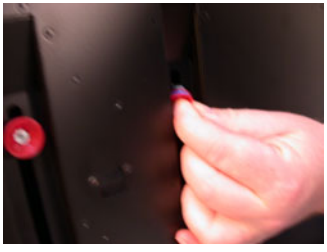
ロード ランプ上のサクション カップの交換

ロード ランプ上のサクション カップを 6 ヶ月ごとに点検し、磨耗している場合は取り替えることをお勧めします。

ロード ランプ上のサクション カップを交換する

1. 磨耗したカップをはがします。
2. カップの取り付け軸に新しいカップを装着し、360° 回転します。





5 トラブルシューティング

オペレータが回復可能なエラー 62
エラー メッセージと望ましい解決法 66
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット 88
出力デバイスのリセット 88
出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し 89
イメージ品質上の問題.....94
電源の障害.....94

オペレータが回復可能なエラー

この章では、Trendsetter ContinuousLoad で起こる可能性のある一般的なエラーや問題について取り上げ、その解決方法について説明します。共通のエラー メッセージおよび望ましい解決法のリストについては、66 ページの「エラー メッセージと望ましい解決法」を参照してください。

出力デバイスが問題を検出すると、次のいずれかを行います。

- 処理を続行する (62 ページの「警告メッセージ」を参照)

  出力デバイスが介入なしに処理を続行できる場合、問題はワークステーションのメッセージ ログに報告されます。

- 処理を中断する (63 ページの「エラー メッセージ」を参照)

  出力デバイスが停止し、問題は、Print Console の [Messages (メッセージ)] ペインに報告されます。状況が直ちに介入を必要とする場合、オペレータ インターフェイスのエラー ライトとステータス ライトが点滅します。ライトについての詳細は、15 ページを参照してください。

  出力デバイスが回復し、イメージングを続行するには、操作を中断したエラーで介入が必要になります。

警告メッセージ

警告メッセージは潜在的に問題を生じさせる状況を警告するものですが、イメージ処理を停止することはありません。たとえば、塵除去ユニットで特定のフィルタがほぼいっぱいであることを確認した場合、交換フィルタを用意するように、Print Console に警告メッセージが表示されます。

一般的に、警告メッセージは Print Console に表示されません。代わりに、履歴レコードの一部として [History (履歴)] ペインに直接進みます。しかし、一部の警告メッセージは、[History (履歴)] ペインに進む前の短い時間、[Messages (メッセージ)] ペインに表示されることがあります。

エラー メッセージ

システム操作のエラーが起きたとき、エラー メッセージが Print Console の [Messages (メッセージ)] ペインに表示され、システムがシャットダウンします。出力デバイスがエラーが発見されたときにすでにプロッティングを開始している場合、部分的に露出されたメディアが排出されます。

エラー メッセージの例は、次のとおりです。

```
MPC:Media not on registration pin
```

出力デバイスでイメージングを続行する前にエラーを修正しなければなりません。

エラー メッセージが修正された後で、[History (履歴)] ペインにコピーされます。

中断条件

中断条件は、出力デバイスの操作を妨げます。中断条件は、メディアが整列されていなかったり、ドラムで詰まっている場合など、エラーまたは問題がシステムにあるときに発生します。

中断条件の例

エラー メッセージ:	ソリューション
`MDH:Media released, remove media and use RESUME to continue` `[Error #: 40229]`	出力デバイスは、[**Release (リリース)**] ボタンをクリックした後でメディアをリリースしました。 **エラーを修正する方法:** 1. メディアを出力デバイスから取り外します。 2. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。

中断条件が発生したとき、

- 出力デバイスが停止します。
- 黄色いステータス ライトが点滅します。
- Print Console に中断プロンプトが表示されます。

中断条件が発生したときに、Print Console で最大 6 個のオプションが選択可能です。ボタンがグレイ表示になっている場合は、選択できません。

表 7: 中断条件オプション

オプション	結果
再開	このボタンをクリックして、操作を再び試みてください。
Release (リリース)	このボタンをクリックして、出力デバイスにメディアをリリースさせ、簡単に取り外せるようにすることができます。
Eject (排出)	このボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。
Media Removed (メディア取り外し完了)	メディアを取り外した後でこのボタンをクリックして、手動で介入して問題を修正することを示します。たとえば、手動で整列がうまくいっていないメディアを取り除いた場合などです。 **重要:** [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] ボタンをクリックする前に、メディアを取り外す必要があります。
Cancel (キャンセル)	このボタンをクリックして、ジョブをキャンセルします。出力デバイスがプレートをロードする場合、ロードが完了し、メディアがドラムに残されます。 このボタンはアンロード中に使用できず、一般的にアンロードを強制しません。
Leave On (オンのまま)	このオプションはプロッティング エラーを指します。メディアはドラムにロードされ、プロッティング エラーが発生します。このボタンをクリックしてエラーを修正し、続行します。通常は、ジョブを再送信する必要があります。

中断条件からの回復

ほとんどの場合、中断条件からの回復は、次の手順をお勧めします。

1. Print Console の中断プロンプトの [**Resume (続行)**] ボタンが選択可能な場合、それをクリックし、最後の手順をもう一度実行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 2 に進みます。

2. [**Leave On (オンのまま)**] ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 3 に進みます。

3. [**Eject （排出)**] ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 4 に進みます。

4. [**Cancel (キャンセル)**] ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 5 に進みます。

5. [**Release (リリース)**] ボタンが選択可能な場合、

   a. それをクリックして、出力デバイスにメディアをリリースさせます。

   b. 手動でメディアを出力デバイスから取り外します。

   c. [**Resume (続行)**] ボタンまたは [**Media Removed (メディア取り出し完了)**] ボタンをクリックして続行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 6 に進みます。

6. [**Media Removed (メディア取り出し完了)**] ボタンが選択可能な場合、
   a. 手動でメディアを出力デバイスから取り外します。
   b. [**Resume (続行)**] ボタンまたは [**Media Removed (メディア取り出し完了)**] ボタンをクリックして続行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 7 に進みます。
7. Print Console の出力デバイスをリセットします。詳細な手順については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 8 に進みます。
8. Print Console を終了します。
9. 出力デバイスをシャットダウンします。
10. 出力デバイスを始動します。



重要 : 問題が引き続き存在する場合は、Creo Response Center にお問い合わせください。

エラー メッセージと望ましい解決法

このセクションは、Trendsetter ContinuousLoad でエラーまたは問題が起きたときに、Print Console に表示されるほとんどのエラー メッセージを取り上げます。



重要: 特定のエラー メッセージの説明の望ましい解決法が見つからない場合は、65 ページの中断条件の解決手順を試してください。それがうまくいかない場合は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

問題を自分自身で解決する場合でも、認定されたサービス代理店に繰り返し起こるエラーについては報告してください。サービス代理店に連絡する際の望ましいオペレータの措置の一部として、エラー番号 (プロンプト番号とも呼ばれる) を報告していただけると、サポート要員が問題を解決する上で役立ちます。



重要: アクセス パネルを開くことは避けられませんが、埃の蓄積を敏感なコンポーネントの中や周囲から減らすために、最小限にとどめてください。



注： Trendsetter ContinuousLoad 出力デバイスは再始動してからウォームアップするのに最大 2 分間かかります。出力デバイスがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。イメージングのために提出されたファイルは、出力デバイスの準備が完了するまでワークステーションで待機します。

エラーの分類

すべてのエラーにはメッセージ番号 (プロンプト番号とも呼ばれる) があります。これは、昇順にリストされています。

メッセージは、Print Console に接頭辞、たとえば、MPC (Master Plot Console) 付きで表示されます。これらのメッセージを出力デバイスのほかの部品に関する情報をリレイするほかのメッセージと区別するためのものです。例：

```
MPC:No valid edge found, check edge detect strip
```

接頭辞は主に多くの種類のメッセージを整理するための内部ツールとして使用されます。種々のエラー カテゴリーを知っていても、必ずしもエラーを解決できません。

サービス代理店に連絡する際の望ましいオペレータの措置の一部として、エラー番号を報告していただけると、サポート要員が問題を解決する上で役立ちます。

Table 8: エラーメッセージの番号順のリスト

番号順のリスト	
エラー メッセージ:	**ソリューション**
PRD:Emergency Stop switch is on [Error #: 35724]	出力デバイスの [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチが間違えて押されています。出力デバイスは [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチがアクティブになっている間、メディアをイメージングできません。 **エラーを修正する方法:** ➢ [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチをリセットします。 88 ページの「[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット」を参照してください。
PRD:Front panel is open, check front panel [Error #: 35733]	前面パネルが開いています。出力デバイスは前面パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 **エラーを修正する方法:** 1. 前面パネルを閉じます。 2. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
PRD:Back panel not detected, check back panel [Error #: 35735]	背面パネルが出力デバイスから取り外されています。出力デバイスは背面パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 **エラーを修正する方法:** 1. 背面パネルが所定の位置にあることを確認してください。 2. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト （続）	
PRD: System Pressure Out of Range:Reading =<Low range limit>、Low=<High range limit>、High=<Current value> [Error #: 35771]	供給空圧が範囲外であるか、汚れによって空圧センサが破損されました。 **エラーを修正する方法:** 1. 出力デバイスのエア サプライ システムをチェックします。 • 出力デバイスに接続されたエア ホースに十分な空圧がかけられていることを確認します。 • 出力デバイスのシステムの空圧ゲージをチェックします。90 ～ 100 psi を示しているはずです。 • 必要に応じて、外部エア供給を調節します。 2. 認定されたサービス代理店に直ちにエラーの報告をしてください。
PRD:Top panels not detected, check top panels [Error #: 35773]	電源ボックスの端のトップ パネルまたはファン ボックスの端のトップ パネルが出力デバイスで開いているか、取り外されています。出力デバイスはトップ パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 **エラーを修正する方法:** 1. トップ パネルが所定の位置にあることを確認してください。 2. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト （続）	
PRD:Fanbox panel is not detected, check fanbox panel [Error #: 35775]	ファン ボックス パネルが出力デバイスから取り外されています。出力デバイスはファン ボックスパネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 **エラーを修正する方法:** 1. ファン ボックス パネルを取り付けます。 2. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
PRD:Front panel is unlocked [Error #: 35786]	前面パネルが正しくロックされていません。出力デバイスは前面パネルがロックされていない間はメディアをイメージングできません。 **エラーを修正する方法:** 1. Print Console で、[**Device (デバイス)**] メニューから [**Unlock Front Panel (前面パネルのロック解除)**] を選択します。 2. 前面パネルを開き、それを閉じます。 3. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト （続）	
THERMAL:TH2 error 01307, Focus:Timeout waiting for focus OK Or THERMAL:TH2 error 03529, System:Failure of the focus learn [Error #: 37240]	プレートに傷があるか、間違ってロードされているため、レーザーが正しくフォーカスできません。 **エラーを修正する方法:** 1. [**Eject (排出)**] ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、プレートをアンロードします。 2. 新しいプレートをロードし、ジョブを再送信します。 3. エラーがもう一度起きた場合は、システムをシャットダウンし、再開します。 4. 出力デバイスがエラーから回復したら、認定されたサービス代理店に連絡してそれを報告してください。
THERMAL:Focus error detected at xx mm from HOME tab while imaging, check plate for artifacts [Error #: 37464]	このエラーは、次のような原因で発生する可能性があります。 • メディアに傷がある • メディアが正しくロードされていない • メディアの端からイメージがはみ出している (イメージ幅がメディアよりも広い) **エラーを修正する方法:** 1. メディアにイメージの人工物がないかどうか検査します。 2. 正しいサイズの新しいメディアをロードし、ジョブを再送信します。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト （続）	
MPC:Could not find edge of media after xx attempts [Error #: 38108]	**エラーを修正する方法:** 1. メディアがイメージされる側 (エマルジョン側) を上に向けてロードされていることを確認します。 2. メディア整列ラベルを使用して、メディアが正しく配置されていることを確認します。 3. ロードされているメディアが正しいサイズであることを確認します。 4. メディアが正しいサイズである場合、もう一度ロードしてみてください。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト （続）	
MPC:No valid edge found, check edge detect strip [Error #: 38116]	出力デバイスは、ある程度の確からしさをもって、メディアのエッジを識別できません。エッジ検出ストリップが汚れているか、メディアの種類またはサイズのためです。 **エラーを修正する方法:** 1. [**Eject (排出)**] ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. エッジの損傷がないか、メディアをチェックします。 3. 損傷がある場合は、別のメディアをロードします。 エラーが再び起きた場合、次のことを行います。 1. 背面パネルを開きます。 2. エッジ検出ストリップを清掃します。 45 ページの「エッジ検出ストリップの清掃」を参照してください。 3. 背面パネルを閉じます。 **重要:** エッジ検出ストリップを清掃しても有効なエッジが見つからない場合、認定されたサービス代理店にエラーを報告してください。

番号順のリスト （続）	
MPC:Media not on <home/away> registration pin [Error #: 38132]	メディアが正しい見当ピンの上にありません。 1. [**Eject (排出)**] ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. ロードされているメディアが正しい位置にあることを確認します。 3. ロードされているメディアが正しいサイズであることを確認します。 4. メディアが正しいサイズである場合、もう一度ロードしてみてください。 **重要:** エラーが引き続き発生する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
MPC:Multiple plates detected on drum [Error #: 38134]	出力デバイスにより測定されるメディアの厚みが、Print Console で指定されたものよりも厚く設定されています。恐らく、2 枚以上のメディアが互いに重なっていることが原因です。 **エラーを修正する方法:** 1. [**Eject (排出)**] ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. メディアを分割し、ロード テーブルで積み重ねてください。 3. ジョブを再送信します。
MPC:Subscan output resolution of <Subscan output resolution> DPI must equal head resolution [Error #: 38136]	使用できない解像度を使用するように出力デバイスを設定しなければなりません。 **エラーを修正する方法:** • 有効な解像度を使用するように、Print Console を設定してください。

番号順のリスト （続）	
MDH:No plates detected on plate buffer table [Error #: 40229]	空のプレート バッファ テーブルからプレートを選択しようとしました。 **エラーを修正する方法:** 1. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 2. 指定したプレートをバッファ ロード テーブル上に配置し、デバイス上の [**Start (開始)**] ボタンを押します。
MDH:Picker up/down timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40303]	
MDH:Picker up/down timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40401]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはピッカーを上下に移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Picker vacuum timeout:Failed to achieve vacuum threshold (<Threshold>) within <Timeout> ms (only reached <Actual value>).[<I/O name>] [Error #: 40404]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはしきい値全体でピッカー バキューム待ちをしています。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト （続）	
MDH:Please remove plate detected on picker [Error #: 40407]	初期化中にメディアはピッカーにありました。 **エラーを修正する方法:** 1. メディアを取り外します。 2. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] ボタンをクリックします。
MDH:Loaddoor timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40428]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスで出口ドアを開いたり、閉じることができません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Picker cups in/out timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40429]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはピッカー カップを内外に移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト （続）	
MDH:Can't open loaddoor because an unpicked plate is detected.Please remove all plates from the plate buffer load table. [Error #: 40430]	このエラーは、デバイスが出口ドアを開こうとしたのに、ファームウェアがバッファ ロード テーブル内に選択されなかったプレートを検出したときに発生します。 デバイスがロードされたプレートを手動でアンロードまたは解放しようとした場合、バッファ ロード テーブルから選択されなかったプレートを削除し、ワークステーション ダイアログ ボックスの [**Resume (続行)**] ボタンをクリックして続行します。 バッファ ロード テーブルに選択されなかったプレートが存在し、デバイスがロードされたプレートをアンロードしようとしていない場合、ピッカー真空圧センサーまたはプレート スタック センサーに問題がある可能性があります。 **エラーを修正する方法:** 1. バッファ ロード テーブルからメディアを削除します。 2. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Roller timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40616]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ローラーのコンポーネントの 1 つを移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト （続）	
MDH:Media being loaded has been measured to have an unexpected main scan length [Error #: 40624]	ロード中に出力デバイスがメディア サイズを認識できませんでした。 **エラーを修正する方法:** 1. メディアがロード テーブルの正しい位置にロードされていることを確認してください。 2. メディア タイプの情報をチェックして、リストされているメディア サイズがロードされたメディア サイズと一致することを確認してください。 3. メディア サイズが一致する場合、 [Suspend (中断)] ダイアログで、[**Resume (続行)**] ボタンをクリックして、イメージングを続行してください。 または メディア サイズが一致しない場合、 [**Cancel (キャンセル)**] ボタンをクリックして、必要に応じてメディア サイズを変更してください。 または 別のサイズのメディアを出力デバイスにロードしてください。 または メディアを再ロードしてください。

番号順のリスト （続）	
MDH:Media being loaded has an invalid main scan length [Error #: 40625]	出力デバイスがロードしようとしたプレートのサイズが間違っています。出力デバイスがプレートのサイズが間違っていると判断すると、それを排出します。 **エラーを修正する方法:** 1. 出力デバイスから該当するプレートを取り出します。 2. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] または [**Release (リリース)**] ボタンをクリックします。 3. 正しいサイズのプレートをロード テーブルにロードしてください。 4. ロードされたプレートの寸法が、ワークステーションで選択した寸法と一致することを確認します。 5. ワークステーションから該当するファイルを再送信します。

番号順のリスト （続）	
MDH:Media being loaded has an invalid sub scan length [Error #: 40626]	出力デバイスがロードしようとしたプレートのサイズが間違っています。出力デバイスがプレートのサイズが間違っていると判断すると、それを排出します。 **エラーを修正する方法:** 1. 出力デバイスから該当するプレートを取り出します。 2. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] または [**Release (リリース)**] ボタンをクリックします。 3. 正しいサイズのプレートをロード テーブルにロードしてください。 4. ロードされたプレートの寸法が、ワークステーションで選択した寸法と一致することを確認します。 5. ワークステーションから該当するファイルを再送信します。
MDH:Media being loaded has an invalid thickness [Error #: 40627]	メディアの厚みがワークステーション ソフトウェアで指定されたものよりもかなり厚くなっています。2 枚以上のメディアが互いにくっついていることがあります。 **エラーを修正する方法:** 1. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] または [**Release (リリース)**] ボタンをクリックします。 メディアが自動的にアンロードされます。 2. ジョブを再送信します。

番号順のリスト （続）	
MDH:Media partially loaded on drum, use RELEASE then remove the media [Error #: 40629]	メディアが部分的にドラムにロードされています。取り出さないと操作を続行できません。 **エラーを修正する方法:** 1. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] または [**Release (リリース)**] ボタンをクリックします。 2. メディアをドラムから取り外します。 89 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照してください。 3. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。
MDH:Media flyoff detected, please open panel and remove media [Error #: 40631]	**エラーを修正する方法:** 1. 89 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」の手順を行ってください。 2. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 3. ジョブを再送信します。

番号順のリスト （続）	
MDH:Media has invalid main scan length, it is smaller than expected [Error #: 40658]	出力デバイスは、間違ったサイズのメディアをロードしようとし、その後メディアを排出しました。 **エラーを修正する方法:** 1. 排出されたメディアを出力デバイスから取り除きます。 2. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] ボタンをクリックします。メディアが排出されていない場合は、[**Release (リリース)**] ボタンをクリックします。 3. ロード テーブルに正しいサイズのメディアをスタックします。 4. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 5. ジョブを再送信します。
MDH:Media has invalid main scan length, it is larger than expected [Error #: 40659]	出力デバイスは、間違ったサイズのメディアをロードしようとし、その後メディアを排出しました。 **エラーを修正する方法:** 1. 排出されたメディアを出力デバイスから取り除きます。 2. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] ボタンをクリックします。メディアが排出されていない場合は、[**Release (リリース)**] ボタンをクリックします。 3. ロード テーブルに正しいサイズのメディアをスタックします。 4. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 5. ジョブを再送信します。

番号順のリスト （続）	
MDH:Leading edge clamp timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40663]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、先端エッジ クランプのコンポーネントの 1 つを移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Trailing edge backbone timeout:Failed to <Action> sensor.[I/O name>] [Error #: 40664]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは後続エッジ バックボーンを上下に移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Trailing edge clamp lock/unlock timeout:Failed to <Action> sensor.[I/O name>] [Error #: 40665]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、後続エッジ クランプをロックまたはアンロックできません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト （続）	
MDH:Exit door timeout.Failed to <Action> sensor. [I/O name>] [Error #: 40666]	タイムアウトが発生しました。出力デバイスで出口ドアを開いたり、閉じることができません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Load ramp timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40667]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ロード ランプを移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Please remove media detected on load ramp [Error #: 40668]	メディアはロード ランプ上にあります。 **エラーを修正する方法:** 1. メディアを取り外します。 2. [**Media Removed (メディア取り外し完了)**] ボタンをクリックします。
MDH:Media not detected on load ramp [Error #: 40669]	出力デバイスはロード中にメディアを検出できませんでした。 **エラーを修正する方法:** 1. メディアが正しくロードされていることを確認してください。 2. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。

番号順のリスト （続）	
MDH:Unload table up/down timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40801]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはアンロード テーブルを上下に移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Unload table cups up/down timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40802]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはアンロード テーブル カップを上下に移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH:Unload table vacuum timeout:Failed to achieve vacuum threshold (<Threshold>) within <Timeout> ms (only reached <Actual value>).[<I/O name>] [Error #: 40803]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはしきい値に達するまでテーブル バキューム待ちをしています。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト （続）	
MDH:Timeout waiting for plate to leave unload table [Error #: 40805]	出力デバイスは、アンロード テーブルからプレート スタッカーまたはプロセッサーにプレートを移動できません。 **エラーを修正する方法:** 1. プレート スタッカーまたはプロセッサーがオンになっていて、正しく作動していることを確認してください。 2. プレートがアンロード テーブルとプレート スタッカーまたはプロセッサの間で止まっていないことを確認してください。 3. スタック プレートを取り外し、プレート スタッカーまたはプロセッサーに手動でフィードしてください。 4. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。
MDH:Please remove plate detected on unload table [Error #: 40809]	初期化中にプレートはアンロード テーブルにありました。 **エラーを修正する方法:** 1. [**Release (リリース)**] ボタンをクリックします。 2. 出力デバイスがアンロード テーブルを下げるのを待ちます。 3. プレートを取り除きます。 4. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。

番号順のリスト （続）	
MDH:Rotator timeout:Failed to <Action> sensor.[<I/O name>] [Error #: 40810]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ロテーターを移動できません。 **エラーを修正する方法:** • [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 88 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット

この [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチを押した場合は、出力デバイスを通常の操作に戻す前にそれをリセットしてください。

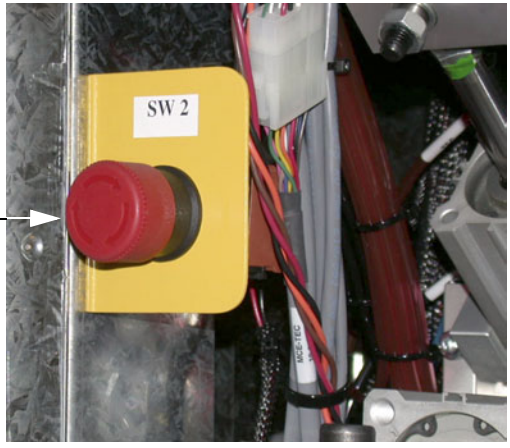


図 30: [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ

[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチをリセットする

➢ [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチを 90° 時計回りに回転します。

ボタンがポップ アップし、出力デバイスが再度使用可能になります。

出力デバイスのリセット

出力デバイスをリセットする

➢ Print Console で、[**Device (デバイス)**] メニューから [**Reset (リセット)**] を選択します。

出力デバイスは自動的にリセットされます。リセットされない場合は、シャットダウンして、システム全体を再起動します。

重要: 出力デバイスは再始動またはリセットにしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかります。

注: [**Reset (リセット)**] コマンドが Print Console で選択できない場合、出力デバイスを約 5 秒間オフにして、またオンに戻します。

出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し

時々、出力デバイスのエラーでプレートがドラムに詰まることがあります。出力デバイスを通常の操作に戻すには、詰まったプレートを取り除く必要があります。

メディアがドラムにロードされたり、アンロードされるときにエラーが起こると、部分的にロードされたメディアをまず取り除き、後続エッジ クランプをドラムのパーク ポジションに手動で配置することが必要になります。92 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照してください。



注意: ドラムの後続エッジ クランプの間に指を挟まないようにしてください。

次の注意事項に従ってください。

- ペースメーカーを着用しているオペレータは、磁気クランプをペースメーカーから 7 cm (2.75 インチ) 以上離すようにしてください。

  他の心配事がある場合は、医者またはインプラントのメーカーに問い合わせてください。

- 磁気クランプを取り扱うとき、互いに異なる極性を近づけないでください。反対の極性の間に手や指を入れないようにしてください。

- 磁気クランプを取り扱う場合は保護グローブを着用してください。



重要 : フロッピー ディスク、磁気ストライプ カード、時計などの磁気データは、協力な磁気の後続エッジクランプから遠ざけておいてください。

ドラムからメディアを取り除く

1. トップ パネルとフロント パネルを開きます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

注意： ほとんどの時間、前面パネルはロックされています。前面パネルを開くときは、このガイドの指示に従ってください。過剰な物理的な力をかけると、パネルが損傷します。

2. 保護グローブを着用してください。

   保護グローブは出力デバイスの中をきれいにたもつために、きれいで、糸くずが付いていないものを使用してください。

注意： プレートの端は鋭くなっています。保護グローブを着用しないと怪我をする可能性があります。

3. メディアが後続エッジ クランプによって保持されている場合、メディアからクランプをスライドさせてはずしてください。そうでない場合は、この手順をスキップします。

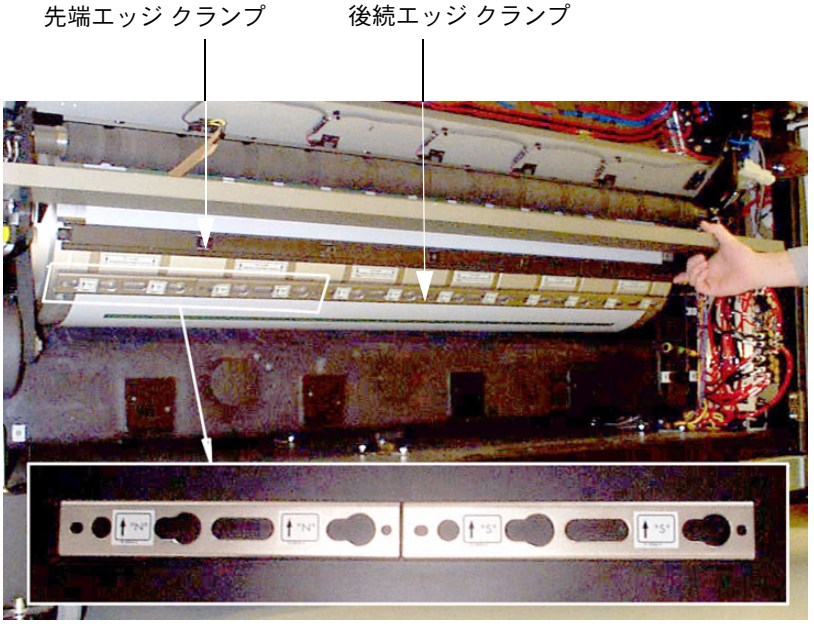


図 31: 後続エッジと先端エッジクランプ

4. ドラムは手で回す一方、先端エッジ クランプに手が届くまで、メディアの後続エッジを出力デバイスの前面にまっすぐと伸ばしてください。
5. メディアの開いている方のコーナーを折りたたみます。
6. メディアのコーナーをつかみ、メディアが先端エッジ クランプからはずれるまでしっかりと手前に引きます。



図 32: コーナーを折りたたんで、メディアをつかみます。

7. 塵が残されていないかどうかを検査するには、クランプのエッジを下に押してエッジ クランプを開きます。
8. 後続エッジ クランプを移動します。

   92 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照してください。
9. 前面パネルを閉じます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。
10. Print Console で、[**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。

    別のメッセージが表示され、後続エッジ クランプをパーク ポジションにするように指示されます。

後続エッジ クランプの移動

次の場合に、出力デバイスの後続エッジ クランプを移動する必要があります。

- ドラムから詰まったメディアを取り除くするために、クランプを移動します。
- クランプは出力 デバイスにより落とされます。
- Print Console に次のエラー メッセージが表示されます。

  `move clamps to park position, then select RESUME`（クランプをパーク ポジションに移動し、RESUME を選択してください）

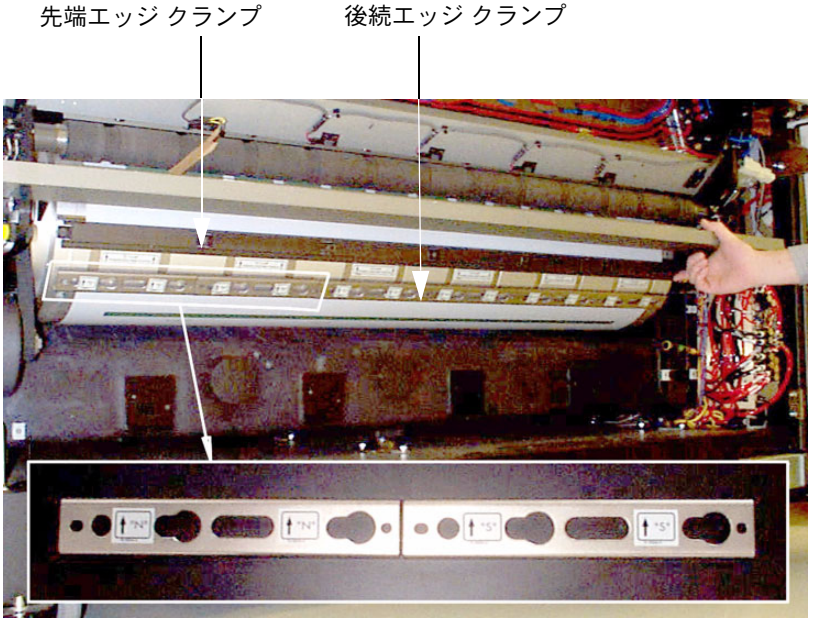


図 33: 後続エッジと先端エッジクランプ

注意: ドラムの後続エッジ クランプの間に指を挟まないようにしてください。

後続エッジ クランプを移動する

1. 前面アクセス パネルを開きます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

2. ドラムにメディアがある場合は、取り除いてください。

   89 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照してください。

3. ドラムは手で後続エッジ　クランプが出力デバイスの前面で見えるようになるまで回転させてください。



注意： ドラムにトレーリング エッジ クランプを配置したり、スライドさせるとき、常にクランプのスチール タブがドラムのスチール ストラップ上で中央揃えされていることを確認してください。クランプ タブは、タブが正しく整列されていない場合に、ドラムの表面を損傷させる場合があります。

4. 先端エッジ クランプに触れるまで、後続エッジ クランプをドラムに沿ってスライドさせてください。

   クランプがドラムから外れた場合、先端エッジ クランプに向かって配置します。

   a. ドラムの **S** または **N** というラベルがついた各クランプに **S** または **N** (磁石の極性) を整列させます。

   b. ドラムの矢印のラベルの方向にクランプの矢印の方向を合わせます。

5. 後続エッジ　クランプが均等間隔に並べられていることを確認します。

   後続エッジ クランプの間の隙間と先端エッジ クランプの間の隙間を整列させます。

6. 後続エッジ クランプが直線で、接触する先端エッジ クランプと平行に並べられていることを確認してください。

7. **S** と **N** の間の後続エッジ クランプ ラベルを確認します。

8. トップ パネルとフロント パネルを閉じます。

   40 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

9. Print Console で、[**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。

10. 出力デバイスが以下のいずれかのメッセージで再び中断された場合、クランプの整列をチェックし、必要に応じて調節してください。

    Timeout moving TE cylinder（TE シリンダの移動タイムアウト）

    TE failed to lock（TE がロックされていません）

    TE clamps not on actuator/drum
    （TE クランプがアクチュエータ / ドラム上にありません）

イメージ品質上の問題

イメージ品質上の問題を経験している場合、認定されたサービス代理店に直ちにお問い合わせください。

電源の障害

電源の障害がある場合は、直ちに Trendsetter ContinuousLoad をシャットダウンしてください。

ワークステーションは、無停電電源装置 (UPS) を装備しています。電源障害時にワークステーションが通常の形式でシャットダウンするための時間を与えます。

しかし、出力デバイスはそのような保護はなく、直ちにシャットダウンします。最後の状態を保留し、オフになっている間、何も変わっていない場合、電源を再投入した後にもう一度回復を試みてください。

自動的な回復が可能でない場合もあります。たとえば、メディアがドラム上に部分的に存在するときに電源が落ちた場合などです。この場合、Print Console にメッセージが表示されるので、メディアを取り出してください。89 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照してください。

電源障害が起きた場合、25 ページの図 9 に示されているように、電源スイッチを使用して出力デバイスをオフにします。電源が回復されると、出力デバイスを再びオンにできます。

トリップされた回路ブレーカー

電源障害が起こると、電源がオンに戻らない場合、出力デバイスが回路ブレーカーをトリップしている可能性があります。回路ブレーカー スイッチを押して、手動でリセットできます。

回路ブレーカー スイッチは、電源ボックス パネルの後ろにあります。パネルを取り外すとき、ブレーカーは電源スイッチの上にあります。

トリップされた回路をリセットする

1. 出力デバイスをシャットダウンします。
2. 電源ボックス パネルを取り外します。

   44 ページの「電源ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。
3. 回路ブレーカー スイッチをリセットします。



図 34: 回路ブレーカー スイッチ

4. 電源ボックス パネルを取り付けます。

   44 ページの「電源ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。
5. 出力デバイスを再始動します。

   24 ページの「Trendsetter の開始」を参照してください。電源が正しく始動しない場合、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

出力デバイスの空圧の損失

圧縮空気は外部圧縮コンプレッサから出力デバイスに供給されます。電源の損失がまたエア コンプレッサに影響を与える場合、出力デバイス内の空圧ゆっくりと失われます。空圧が通常に戻らない場合は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

A

部品番号

部品リスト.....98

部品リスト

説明	Creo 部品番号
圧縮エア サプライ フィルタ キット	332-00003
フィルタ ボール / ガード	55-1216
吸気フィルタ [24" x 12" x 2"]	55-0700
Kimberly Clark 製 Kimwipes EX-L (Wipers) [15" x 17" サイズ]	Creo は Kimwipes を販売しません。
UDRC-B の粒子フィルタ	57-8792
粒子フィルタ スペーサー	57-8697
サクション カップ (6 個セット)	340-00004

B

ラベル

概要 100
ID と認証ラベル 101
レーザーの安全性ラベル 106
一般的な安全性ラベル 110

概要

この付録では出力デバイスのラベルに関する情報を示します。これらのラベルは、出力デバイスを安全に操作するためのものです。この付録に記載されているすべてのラベルは、オペレータが触れることができ、ほとんどが出力アクセス パネルの内側にあります (全体的なインターロック式保護筐体の中)。

項目	参照先
「ID ラベル」	102 ページ
「クラス 1 レーザー製品ラベル」	103 ページ
「CDRH 認証ラベル」	103 ページ
「CE ラベル」	104 ページ
「CSA ラベル」	104 ページ
「FCC 認証ラベル」	105 ページ
「C-Tick ラベル」	105 ページ
「露出ヘッド アパチュア ラベル」	106 ページ
「可動部品注意事項 / レーザー危険警告 / 放射線出力 / クラス 4 レーザー製品ラベル」	107 ページ
「非インターロック式パネル危険ラベル」	108 ページ
「ドア インターロック危険ラベル」	109 ページ
「高圧漏れ電流ラベル」	110 ページ
「安全性インターロック オーバーライド ラベル」	111 ページ
「危険電圧ラベル」	112 ページ
「過熱表面注意ラベル」	112 ページ
「可動部品ラベルに注意してください」	113 ページ
「手を触れないでください警告ラベル」	113 ページ
「インターロック故障時に可動部品に注意ラベル」	114 ページ
「ソレノイド ロック ラベル」	114 ページ
「ヒューズ交換ラベル」	115 ページ

ID と認証ラベル

これらのラベルは右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

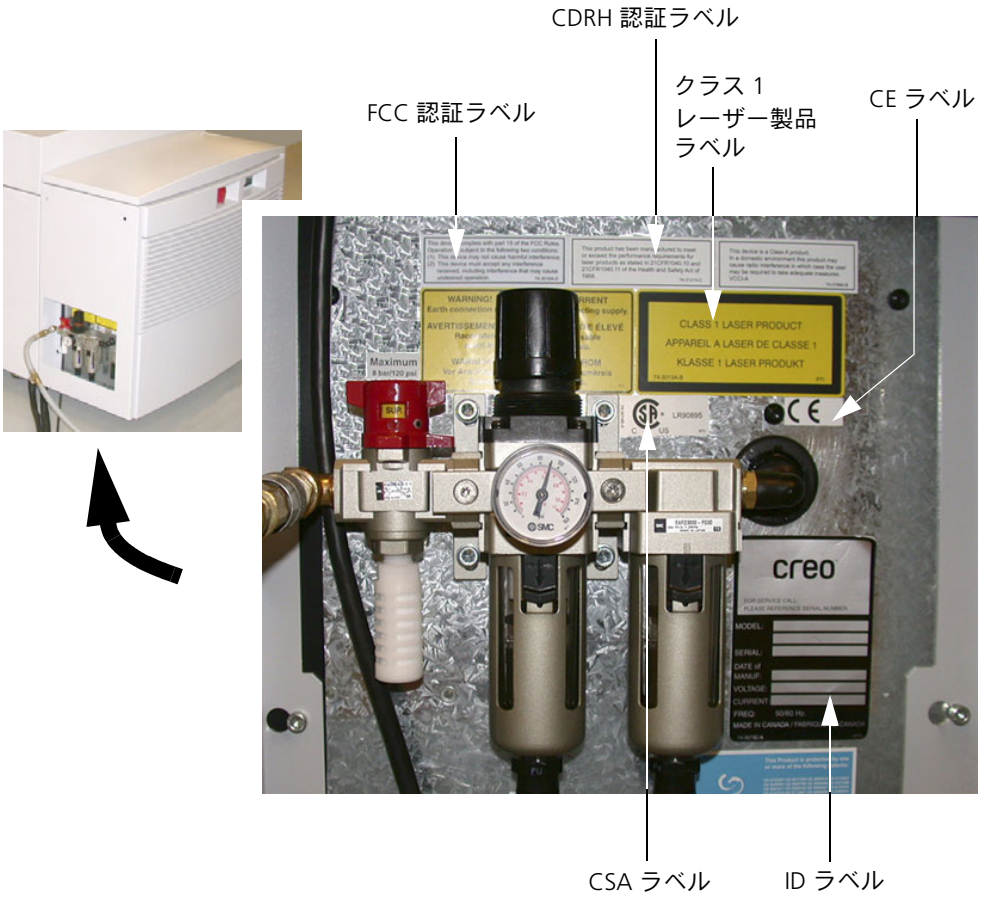


図 35: ID と認証ラベル

ID ラベル

このラベルは、101 ページの図 35 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

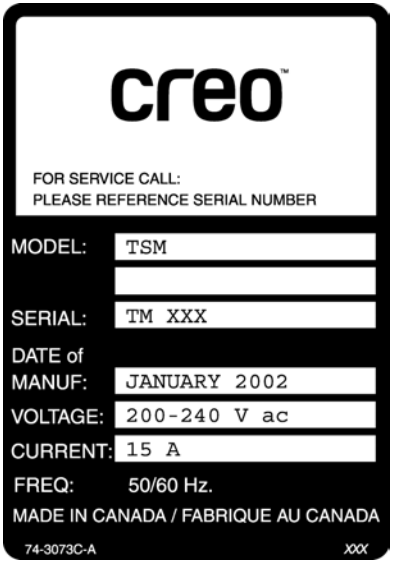


図 36: ID ラベル

上記ラベルの訳文

サービス連絡先 _____

シリアル番号を参照してください

モデル :TSM

製造日 :< 月 > < 年 >

電圧 :200-240 V ac

電流 :15 A

周波数 :50/60 Hz

カナダ製

クラス 1 レーザー製品ラベル

このラベルは、101 ページの図 35 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 37: クラス 1 レーザー製品ラベル

上記ラベルの訳文

CLASS 1 LASER PRODUCT

CDRH 認証ラベル

このラベルは、101 ページの図 35 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

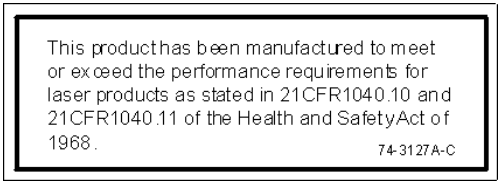


図 38: CDRH 認証ラベル

上記ラベルの訳文

本製品は、Health and Safety Act of 1968 の 21CFR1040.10 と 21CFR1040.11 に規定されたレーザー製品のパフォーマンス要件を満たすか、それを超えるように製造されています。

CE ラベル

このラベルは、101 ページの図 35 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 39: CE ラベル

CSA ラベル

このラベルは、101 ページの図 35 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 40: CSA ラベル

FCC 認証ラベル

このラベルは、101 ページの図 35 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

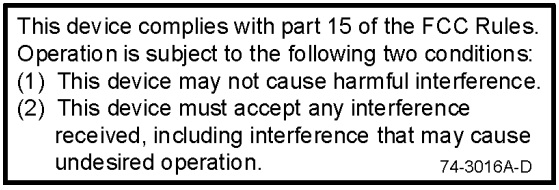


図 41: FCC 認証ラベル

上記ラベルの訳文

このデバイスは、FCC 規則の第 15 部を遵守しています。操作は、以下の 2 つの条件を前提としています。

(1) このデバイスが危険な妨害を及ぼさない。

(2) このデバイスは、望ましくない動作を生じさせる可能性のある妨害を含め、すべての妨害を受け付けなければならない。

C-Tick ラベル

このラベルは、ACA (Australian Communications Authority) の認証を示します。このラベルは、図 35 には示されていませんが、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 42: C-Tick ラベル

レーザーの安全性ラベル

露出ヘッドにあるレーザー安全性ラベル:

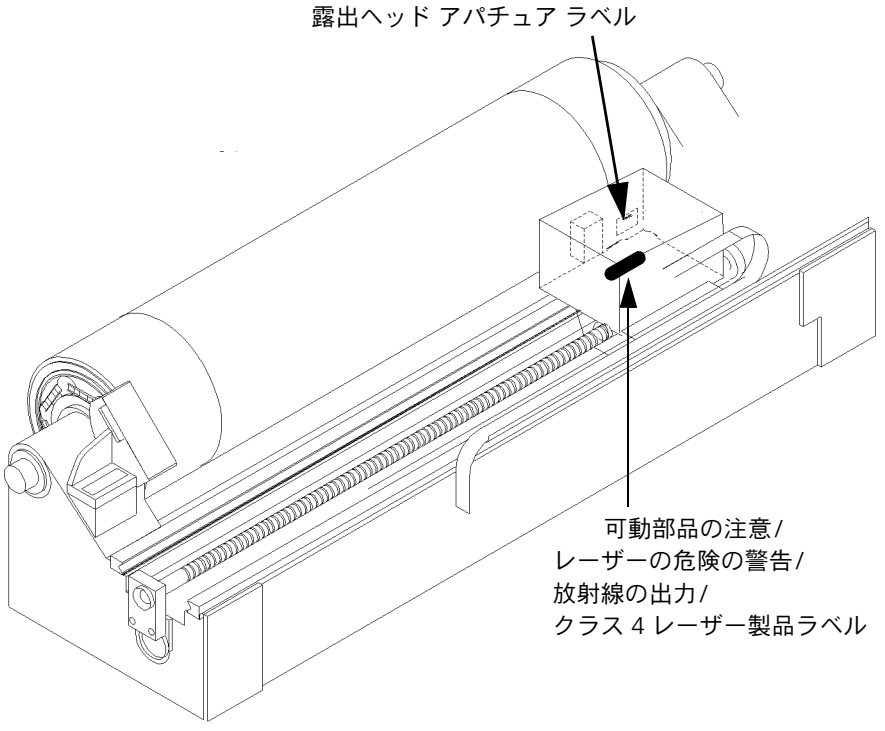


図 43: 露出ヘッド レーザー安全性ラベル

露出ヘッド アパチュア ラベル

このラベルは、図 43 に示すように、シャッターとアパチュアの隣にある露出ヘッド保護筐体の前面にあります。



図 44: 露出ヘッド アパチュア ラベル

上記ラベルの訳文

露出を避けてください。目に見える、あるいは目に見えないレーザー光線がこの装置から放出されています。

可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル

可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品安全性ラベルは、露出ヘッド保護筐体の背面にあります。ラベルの場所は、106 ページの図 43 を参照してください。

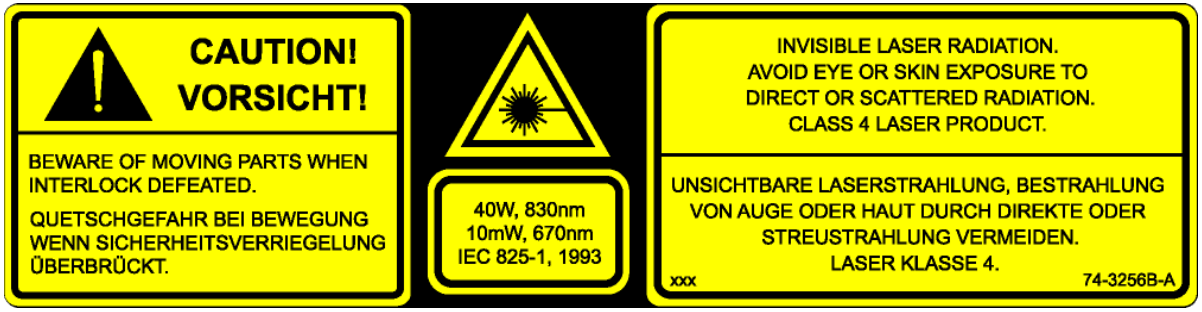


図 45: 可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル

上記ラベルの訳文

注意!インターロックが壊れている場合は、可動部品に注意してください。

目に見えないレーザーが放射されています。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。クラス 4 レーザー製品。

非インターロック式パネル危険ラベル

このラベルは、以下の 4 箇所にあります。

- 上部サービス アクセス パネルの両端で、アンロード テーブルの下
- 下部サービス アクセス パネルの両端で、アンロード テーブルの下

危険：サービス アクセス パネルは、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができます。許可のないパネルの取り外しを行うと、高電力レーザー放射線および可動機械部品の危険にさらされる可能性があり、結果として死または深刻な怪我に至る可能性があります。



図 46: 非インターロック式パネル危険ラベル

上記ラベルの訳文

危険！開いたときに目に見える、または目に見えないレーザー放射線が放出されます。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。

ドア インターロック危険ラベル

これらのラベルは、インターロック式保護筐体の中の安全インターロック スイッチの脇にあります。



図 47: ドア インターロック危険ラベル

上記ラベルの訳文

危険！開いていて、インターロックが壊れているときに目に見える、または目に見えないレーザー放射線が放出されます。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。

危険: アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

一般的な安全性ラベル

高圧漏れ電流ラベル

このラベルは右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 48: 高圧漏れ電流ラベル

上記ラベルの訳文

警告！高圧漏れ電流

電源に接続する前にアース接地することが重要です。

安全性インターロック オーバーライド ラベル

このラベルは、電源ボックスパネルのサービス キー スイッチの脇にあります。

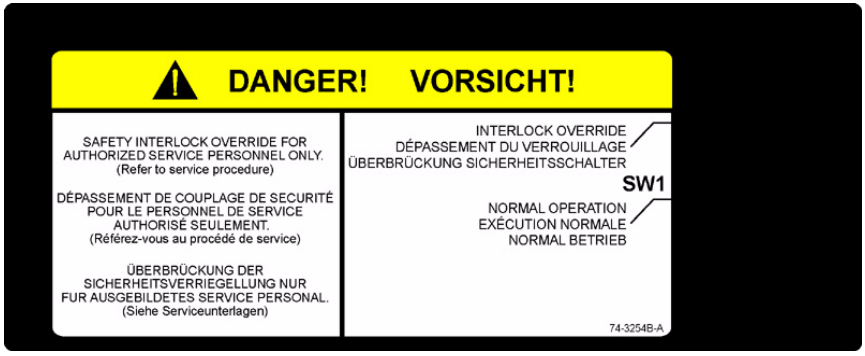


図 49: 安全性インターロック オーバーライド ラベル

上記ラベルの訳文

危険！

認定されたサービスマンのみが安全性インターロックをオーバーライドできます (サービス手順を参照)。

インターロック オーバーライド _____

通常操作 _____

危険: サービス キー スイッチは、認定されたサービス代理店のみが使用できます。許可なく使用すると、可動機械部品の危険にさらされる可能性があり、結果として死または深刻な怪我に至る可能性があります。

危険電圧ラベル

このラベルは、ファン ボックスのジャンクション ボックス サービス アクセス カバー上に貼られています。



図 50: 危険電圧ラベル

危険: ジャンクション ボックス サービス アクセス カバーは、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができます。このラベルが貼られているカバーを取り外さないでください。この領域には高圧電流部品が含まれているため、死に至る可能性があります。

過熱表面注意ラベル

このラベルは、ファン ボックス パネル内部の熱交換循環ポンプ上に貼られています。



図 51: 過熱表面注意ラベル

可動部品ラベルに注意してください

このラベルはポリカーボネイト サイド バリアの両側にあります。



図 52: 可動部品に注意ラベル

上記ラベルの訳文

注意！可動部品に注意してください。

手を触れないでください警告ラベル

このラベルは先端エッジ アクチュエーターの中央、前面パネルの後ろにあります。

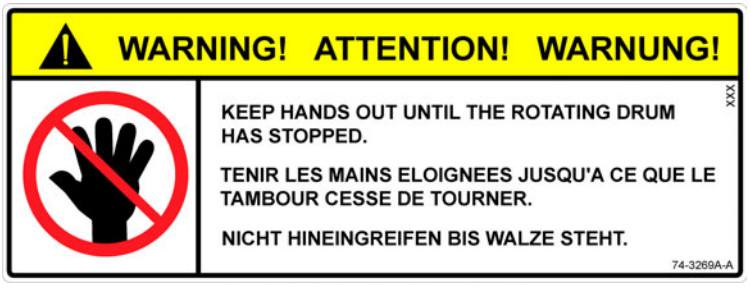


図 53: 手を触れないでください警告ラベル

上記ラベルの訳文

警告！回転ドラムが停止するまで、手を触れないでください。

インターロック故障時に可動部品に注意ラベル

このラベルは先端エッジ アクチュエーターの両端の前面パネルの後ろにあります。

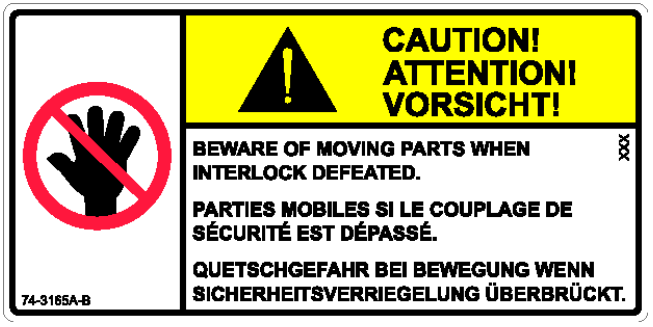


図 54: インターロック故障時に可動部品に注意ラベル

上記ラベルの訳文

注意!インターロックが壊れている場合は、可動部品に注意してください。

ソレノイド ロック ラベル

このラベルは前面パネルの各ラッチの脇にあります。

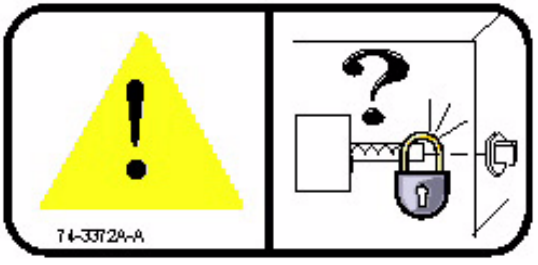


図 55: ソレノイド ロック ラベル

ヒューズ交換ラベル

このラベルは、サービス アクセス パネルの下で、左下の電源ボックスの外側のパネルの後ろにあります。

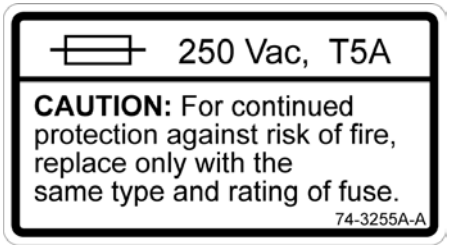


図 56: ヒューズ交換ラベル

上記ラベルの訳文

注意継続的な防火のために、同じ種類で定格のヒューズとのみ交換してください。

C

法律上の遵守事項

電気的および機械的な安全 118
レーザーの安全性 120
EMI/EMC の遵守 120
ノイズの放出 121

電気的および機械的な安全

Trendsetter ContinuousLoad は、電気的および機械的な安全基準に従って設計、テスト、および評価されました。

- CSA 60950、 *Safety of Information Technology Equipment*
- UL 60950、 *Safety of Information Technology Equipment*
- EN 60950、 *Safety of Information Technology Equipment*
- EN 60204-1、 *Safety of Machinery*

出力デバイスの CSA ラベルは、CSA 60950 および UL 60950 標準の遵守を示しています。出力デバイスの CE ラベルは次の通達の遵守を示しています。

- Low Voltage Directive 73/23/EEC
- Directive of Machinery 98/37/EC
- Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC

これらのラベルについては、付録Bの「ラベル」を参照してください。

遵守の EC 宣言

creo Creo Inc.
3700 GILMORE WAY, BURNABY, BC CANADA V5G 4M1
T. +1.604.451.2720
F. +1.604.451.2748

EC DECLARATION OF CONFORMITY (FOR CE MARK)

in accordance with the Directive of Machinery 98/37/EC
and the Low Voltage Directive 73/23/EEC
and the Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC.

Applicant:	**Creo Inc.**, 3700 Gilmore Way, Burnaby, BC, Canada, V5G 4M1.
Signature / Date:	Sept 11/03
Name / Title:	Calvin Osborne, Engineering Manager.
Factory:	**Creo Inc.**, 1608 Cliveden Ave, Delta, BC, Canada, V3M 6P1.

declares, that the product:

Product:	Imaging Device.
Model:	TSM (includes the following options: TH1.7, TH2, Hydra, Proofing, Autoloader and ContinuousLoad).
Rating:	Input rated 200-240 Vac, 50/60 Hz, 15 A, cord connected, Class I (grounded).

conforms with the above mentioned Directives and the following Applicable Standards:

EN 292-2: 1991 + A1 + A2.
- Safety of Machinery.

EN 60204-1: 1997+ A1.
- Safety of Machinery, Electrical Equipment of Machines.

EN 60825-1: 1994 + A2, Class 1 Laser Product.
- Safety of Laser Products.

EN 60950: 2000.
- Safety of Information Technology Equipment.

EN 55022: 1998, Class A.
- EMC, Product Standard, Emission (CISPR 22)

EN 55024: 1998.
- EMC, Product Family Standard, ITE Immunity Characteristics - Limits & Methods of Measure.

EN 61000-3-3: 1995.
- EMC, Limitation of Voltage Fluctuations and Flicker In Low-Voltage Supply Systems For Equipment.

Supplementary Information: The product is high-power equipment (>1 kW) for professional use and is therefore exempt from the requirements of EN 61000-3-2. Creo Inc is registered to ISO 9001.

European Contact: Mr. Israel Sandler; Managing Director,
Creo Inc., European Headquarters, Waterloo Office Park,
Building E-F, Dreve Richelle 161, 1410 Waterloo, Belgium.
T. 32-2-3522511, **F.** 32-2-3510915.

図 57: 遵守の EC 宣言

レーザーの安全性

Trendsetter ContinuousLoad は、次のレーザー光線の安全基準に従って設計、テスト、および評価されました。

- 米国食品薬品局の CDRH (Center of Devices and Radiological Health) の規則に従った米国連邦規則 21 CFR 1040 10
- EN 60825-1、 *Safety of Laser Products*

出力デバイスの Class 1 Laser Product ラベルは、これらの標準の遵守を示します。このラベルの説明については、付録 B の「ラベル」を参照してください。



警告: コントロールの使用や調整、またはこのガイドで指定されている以外の手順を実行すると、危険な放射線にさらされる可能性があります。

EMI/EMC の遵守

Trendsetter ContinuousLoad は、FCC 規則の第 15 部に従ってクラス A デジタル装置に関する制限に遵守していることをテストし、確認しています。これらの制限は、出力デバイスが商用環境で操作されるときの危険な妨害からの正当な保護を行うように設計されています。

この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、このガイドに従って設置および使用しないと、無線通信を妨害する可能性があります。住宅地域における出力デバイスの操作は危険な妨害を生じる恐れがあります。これらの妨害については、使用者の費用負担で修正する必要があります。

出力デバイスの FCC 認定ラベルは、これらの制限の遵守を示します。このラベルの例については、付録 B の「ラベル」を参照してください。

Trendsetter ContinuousLoad は、Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC に遵守するように設計、テスト、および評価されています。次の EMC 標準を遵守しています。

- EN 55022、クラス A
- EN 55024
- EN 61000-3-3

ノイズの放出

Trendsetter ContinuousLoad は、オフィス環境に許可された最大ノイズ放出制限である 70 dB(A) を遵守するように設計、テスト、および評価されています。Trendsetter ContinuousLoad からのノイズ放出は、無反響空間で 1 m の距離で測定して 69 dB(A) 未満です。

用語集

ひび割れ	プラスチック部分が壊れてできる線ひび割れは、通常、不適当な清掃によってできます。
ドラム	出力デバイスの中のデバイスで、レーザーによりイメージングするためにメディアをマウントするもの。
エラー メッセージ	システム操作のエラーが起きたとき、エラー メッセージが Print Console に表示され、システムがシャットダウンします。通常の操作を続行する前に、この問題を解決する必要があります。
露出ヘッド	赤外線熱エネルギーを使用して、ヘッドが「燃える」か、イメージが IR 感知メディアに転送されます。イメージング ヘッドとも呼ばれます。
ファイル	1 つまたは複数のイメージの電子テキスト記述。PostScript 言語を使用します。このとき、Print Console は複数の PostScript showpage オペレータを含むファイルをサポートしません。
フィルム	イメージを露出するセルロース製のメディア。Trendsetter ContinuousLoad は、1 つのイメージごとに 1 枚の露光フィルムを作成します。「メディア」も参照してください。
GATF	Graphic Arts Technical Foundation。
画像	印刷メディアにプロットされる電子ビットマップ。出力デバイスはワークステーションからイメージを受け取り、露出した未現像のメディアを作成します。
イメージング ヘッド	「露出ヘッド」を参照してください。
ロード ランプ	出力デバイスの上のガラスの角度のついたシート。フィルムのシングル プレートは、ロード ランプを通じて出力デバイスに手動でフィードされます。
メディア	イメージがプロットされる物理的な材料であるプレートまたはフィルム。
メディア整列ラベル	メディアの正しい配置に使用されるテープ マーク。

メディアの種類 特定のタイプのプレートまたはフィルムを指します。メディアの種類は通常、Creo サービス代理店により出力デバイスのインストール中に設定されます。

PDF Portable Document Format。Adobe System の PDF は、ページの線画、イメージ、およびテキスト （必要なフォントすべてを含む) を保存するための確実なファイル形式です。

プレート イメージを露出する金属製のメディア。Trendsetter ContinuousLoad は、1 つのイメージごとに 1 枚の露光プレートを作成します。「メディア」も参照してください。

プレート プロセッサ プレートを現像するために、Trendsetter ContinuousLoad で使用される機器。デベロッパとも呼ばれます。

出力デバイス Creo イメージング システムの一部であるプレートセッター、プルーフセッター、またはフィルムセッター。

粒子フィルタ イメージング中に放出される粒子の塵を捕らえる多孔性の材料を含みます。

PostScript Postscript インタープリタを装備したデバイスに出力するために、種類とビジュアルな要素を記述するために使用される Adobe Systems が開発したページ記述言語。

PostScript ファイル ネイティブのアプリケーション ファイルから作成されたページ記述言語で書かれたファイル。

PPD Postscript プリンタ記述ファイル。特定の Postscript 出力デバイスに関連付けられたパラメータとオプションに関する情報を含むコンピュータ ファイル。

Print Console イメージングのために、出力デバイスにファイルを送信するデバイス コントロール ソフトウェア。Print Console は PostScript ファイルのラスター化されたイメージを作成します。つまり、PostScript Level 3 ソフトウェア RIP (raster image processor) です。ソフトウェア RIPs PostScript ファイルは、メディアに露光させるイメージを作成します。

プロンプト番号 ワークステーション メッセージ (一般的にはエラー メッセージ) を識別するエラー番号です。

ラスタ 行と列にピクセルごとに定義されたデジタル化された (ビットマップされた) イメージ。「RIP」も参照してください。

見当	印刷されたプレートを作成するための別のメディアの整列。
RIP	Raster Image Processor。イメージングのために出力デバイスに送信される Postscript ファイルからのビットマップ イメージを作成します。
SCSI	Small Computer System Interface。このタイプの接続は、ワークステーションから出力デバイスにイメージ データを送信するときに使用します。
送信	イメージングのキューにファイルを入れるプロセス。
中断条件	現在のオペレーションの続行を妨げる出力デバイスの条件。
SWOP	Web オフセット出版の仕様。
処理量	イメージが解読され、作成される効率。
UDRC	「汎用塵除去キャビネット」を参照してください。
UGRA	Swiss Association for the Promotion of Research。
汎用塵除去キャビネット	汎用塵除去キャビネットは、塵除去システムの主要コンポーネントです。フィルタ コンパートメント、プラスチック容器、フィルタ、ブローワー、電子制御回路から成り立つもの。
UPS	無停電電源。電源障害時にワークステーションに一時的に電源を供給するために使用されるデバイス。
ワークステーション	Windows NT® オペレーティング システムと Print Console を実行する高速コンピュータ。PostScript ファイルを受信するローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続されます。
ワークステーション ソフトウェア	「Print Console」を参照してください。

索引

数字

0.01 ミクロン フィルタ，54
5 ミクロン フィルタ，51

C

[Cancel (キャンセル)] ボタン，64
CDRH 認証ラベル，103
CE ラベル，104，118
CSA ラベル，104
C-Tick ラベル，105

E

[Eject (排出)] ボタン，64
EMC 標準，120
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ，7，88
  安全性，7
  リセット，88

F

FCC
  規則，120
  認定ラベル，120
FCC 認証ラベル，105

H

[History (履歴)] ペイン
  エラー，63
  警告，62

I

ID ラベル，102

L

[Leave On (オンのまま)] ボタン，64

M

[Media Removed (メディア取り外し完了)] ボタン，64
[Messages (メッセージ)] ペイン，62

P

Print Console
  [History (履歴)] ペイン，62
  [Messages (メッセージ)] ペイン，62

R

[Release (リリース)] ボタン，64
[Resume (続行)] ボタン，64

S

[Start (スタート)] ボタン，16

T

Trendsetter
  コンポーネント，14
  システム，10
  消耗品，18
  説明，10

あ

アクセス パネル
  パネルを参照
圧縮エア サプライ フィルタ
  エア サプライ フィルタを参照，48
安全性
  安全に関する情報，3
    [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ，7
    安全パネル，17
    インターロック システム，6，36
    可聴警告，14
  メンテナンス，36
安全性インターロック オーバーライド ラベル，111
安全パネル，17
  場所，14
アンロード安全パネル，17
アンロード テーブル，17

い

移動
  後続エッジ クランプ，92
イメージ品質上の問題
  解決，94
イメージ品質上の問題の解決，94
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル，114
インターロック システム，6，36

う

ウォームアップ時間，24

え

エア サプライ フィルタ
  0.01 ミクロン，54
  5 ミクロン，51
  検査，49
  交換，47
  交換の頻度，47
  場所，48
エア フィルタ
  フィルタを参照
エッジ検出ストリップ
  清掃，45
  場所，45
エラー
  エラーの分類，67
  エラー メッセージ，63
    望ましい解決法，66
    番号順のリスト，68
  オペレータが回復可能，62
  警告メッセージ，62

お

オペレータ インターフェイス, 62
[Start (スタート)] ボタン, 16
説明, 15
オペレータが回復可能なエラー
処理を中断, 62
操作の続行, 62

か

回復可能なエラー
オペレータが回復可能な
エラーを参照
回路ブレーカー
トリップされた, 95
パネルの場所, 95
リセット, 95
可聴警告, 14
可動部品注意事項/レーザー危険
警告/放射線出力/クラス 4
レーザー製品ラベル, 107
可動部品に注意ラベル, 113
過熱表面注意ラベル, 112
環境に関する仕様
温度, 18
湿度, 18
ノイズ, 18

き

機械的な安全, 118
危険記号, 2
危険電圧ラベル, 112
吸気フィルタ
検査, 57
交換, 57
場所, 57

く

空圧の損失, 96
クラス 1 レーザー製品ラベル, 103

け

警告記号, 2
警告デバイス, 14
検査
エア サプライ フィルタ, 49
吸気フィルタ, 57
見当ピン, 29

こ

高圧漏れ電流ラベル, 110
交換
エア サプライ フィルタ, 47
吸気フィルタ, 57
塵除去フィルタ, 59
交換部品, 98
後続エッジ クランプ, 90, 93
移動, 92, 93
パーク ポジション, 89
このマニュアルで使用される
記号, 2
コンポーネント
システム, 12
出力デバイス, 14

さ

サーマル プレート
サポートされている
メディア, 19
削除
メディアの詰まり, 89
汚れ, 38

し

出力デバイス
ウォームアップ時間, 24
エラー, 62
外部の清掃, 37
起動, 24
空圧の損失, 96
シャットダウン, 25
内部へのアクセス, 39
メンテナンス, 34
リセット, 88
出力デバイスの空圧の損失, 96
出力デバイスの
コンポーネント, 12
安全パネル, 17
アンロード テーブル, 17
出力デバイスの始動, 24
出力デバイスのステータス, 15
出力デバイスの内部
清掃, 44
出力デバイスの内部への
アクセス, 39
出力デバイスをオフにする, 25
出力デバイスをオンにする, 24
出力デバイスをシャットダウン
する, 25
手動操作, 15, 30
消耗品, 18
塵フィルタ, 18
フィルタ, 18
プロセッサ消耗品, 18
仕様 (環境)
温度, 18
湿度, 18
ノイズ, 18
遵守
法律上の遵守事項を参照
遵守の宣言, 119

す

スケジュール、メンテナンス, 34
ステータス ライト, 16

せ

清掃
エッジ検出ストリップ, 45
出力デバイスの外部, 37
出力デバイスの内部, 44
推奨事項, 37
プレート ローラー, 46
ロード ランプ, 38
整列ラベル
サポートされているサイズ, 29
説明, 31

先端エッジ アクチュエータ, 113
先端エッジ クランプ, 93
　場所, 91
前面パネル, 39
　閉じる, 41
　開く, 40
前面パネルのラッチ, 40

そ

操作
　手動, 30
ソレノイド ロック ラベル, 114

ち

注意記号, 2
中断オプション
　[Eject (排出)] ボタン, 64
　[Leave On (オンのまま)] ボタン, 64
中断条件, 63
　回復, 65
　処理を中断, 62
中断条件オプション, 64
　[Cancel (キャンセル)] ボタン, 64
　[Media Removed (メディア取り外し完了)] ボタン, 64
　[Release (リリース)] ボタン, 64
　[Resume (続行)] ボタン, 64
塵除去, 59

て

手を触れないでください警告 ラベル, 113
電気的な安全, 118
電源の障害
　回復, 94
電源ボックス パネル, 39
　取り付け, 44
　取り外し, 44

と

閉じる
　前面パネル, 41
トップ パネル
　電源ボックスの端の トップ パネル, 39
　ファン ボックスの端の トップ パネル, 39
取り付け
　電源ボックス パネル, 44
　ファン ボックス パネル, 43
取り外し
　電源ボックス パネル, 44
　ファン ボックス パネル, 42
ドア インターロック危険 ラベル, 109
ドラム
　場所, 46

の

ノイズの放出, 121

は

背面パネル, 39
パネル
　前面パネル, 39
　電源ボックス パネル, 39, 44
　電源ボックスの端の トップ パネル, 39
　背面パネル, 39
　ファン ボックス パネル, 39
　ファン ボックスの端の トップ パネル, 39

ひ

非インターロック式パネル危険 ラベル, 108
ヒューズ交換ラベル, 115
開く
　前面パネル, 40
　電源ボックス パネル, 44
　ファン ボックス パネル, 42

ふ

ファン ボックス パネル, 39
　取り付け, 43
　取り外し, 42
フィルタ
　エア サプライ フィルタ
　　0.01 ミクロン, 54
　　5 ミクロン, 51
　　検査, 49
　　交換, 47
　　交換の頻度, 47
　　場所, 48
　吸気フィルタ
　　検査, 57
　　交換, 57
　　場所, 57
　塵除去フィルタ
　　交換, 59
フィルム
　メディアを参照。
部品のリスト, 98
部品番号
　UDRC-B の粒子フィルタ, 98
　エア サプライ フィルタ キット, 98
　吸気フィルタ, 98
　フィルタ ボール / ガード, 98
　粒子フィルタ スペーサー, 98
プレート
　メディアを参照。
プレートの曲げとパンチング, 31
プレート ローラー
　清掃, 46
　場所, 46

ほ

法律上の遵守事項
　EMI/EMC, 120
　機械的な安全, 118
　電気的な安全, 118
　ノイズの放出, 121
　レーザーの安全性, 120

め

メッセージ
　警告，62
　エラー，63
メディア
　見当，31
　サポート，19
　処理，21
　寸法，21
　寸法のダイアグラム，21
　整列ラベル，31
　　324 mm ～ 559 mm，29
　　324 mm 以下，29
　　559 mm 以上，29
　ドラムで詰まる，89
　方向，20
　ロード，26
メディアの詰まり
　削除，89
メディアのロード，26
　手動操作，30
メンテナンス，33
　0.01 ミクロン フィルタの
　　交換，54
　5 ミクロン フィルタの交換，51
　エッジ検出ストリップ，45
　吸気フィルタ，57
　出力デバイスの外部，37
　出力デバイスの内部，44
　スケジュール，34
　清掃時の推奨事項，37
　塵除去フィルタ，59
　プレート ローラー，46
　汚れの除去，38
　ロード ランプ，38

よ

汚れ
　削除，38

ら

ライト
　イメージング，15
　エラー，15
　ステータス，16
　ロード，15
ラベル
　CDRH 認証，103
　CE，104
　CSA，104
　C-Tick，105
　FCC 認証，105
　ID，102
　安全性インターロック
　　オーバーライド，111
　インターロック故障時に
　　可動部品に注意，114
　可動部品注意事項 / レーザー危
　　険警告 / 放射線出力 / クラス 4
　　レーザー製品，107
　可動部品に注意，113
　過熱表面注意，112
　危険電圧，112
　クラス 1 レーザー製品，103
　高圧漏れ電流，110
　ソレノイド ロック，114
　手を触れないでください
　　警告，113
　ドア インターロック危険，109
　非インターロック式パネル
　　危険，108
　ヒューズ交換，115
　露出ヘッド アパチュア，106

り

リセット
　[Emergency Stop (緊急停止)]
　　スイッチ，88
　出力デバイス，88
　トリップされた回路
　　ブレーカー，95

れ

レーザーの安全性，6，120
レーザーの安全性ラベル，106

ろ

ロード ランプ
　清掃，38
　説明，14
　メディアの見当，31
露出ヘッド アパチュア
　ラベル，106

わ

ワークステーション ソフトウェア
　Print Console を参照

www.creo.com | creo™